



伊豆中央ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF IZU-CHUO

週報 第2499回例会

2017.07.04(火) 於 サンバレー富士見

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 小野住環境ビル 2F
 TEL (055)976-6351 FAX (055)976-6352
 例会場 ホテルサンバレー富士見 静岡県伊豆の国市古奈 185-1
 TEL (055)947-3100 FAX (055)947-0564
 URL www.izuchuo-rc.org

2017-18

RI 会長 イノH.S. ラズリー ガバナー 松村友吉
 会長 長友範充 幹事 土屋雄三
 会報委員会 浜村真由美・木内昭夫・水谷隆一・土田 哲

SAA 中山博司・小野 信 S.L. 雨宮演邦

会長挨拶

会長 長友範充



今晚は、今年度会長を務めさせていただきます。2回目の会長ということですが、これから1年間よろしくお願ひ致します。

前回は2012-13年度ということですので、5年前になります。

私の後、竹村さんが二回続けて、そして山口さんが二回と、二回会長を務められた方がお二人いらっしゃいますので、私も二回目はしょうがないと思っています。やるからには、自分のできる範囲で出来ることはきちんとしたいと思います。

前回と今回の違いはと考えると、先ず会員数、そして第二にはロータリー自身の変化、この二つを強く感じます。

会員数は32名が25名と7名減少しています。7名といっても率では22%ですから、かなりの減少と言わざるを得ません。

また、ロータリー自体については、5年前も変化の兆しはかなり有ったわけです。CLPとかいわれていた時です。しかし、今年度は昨年の規定審議会の決定で、非常に大きく、完全に変わったという印象です。

ロータリーが変わったということは、とりもなおさず、社会が変わったということです。社会が変わってきたから、ロータリーも変わらざるを得ないということではないでしょうか。

我々も、自分が変わらなければ何も変わらないと考え、この地域、そして我々メンバーのためになる伊豆中央RCを目指さなければと思います。

本日から約1年間、よろしくお願ひ致します。

出席報告

委員長 小林貞博

	出席総数	出席率	マークアップ	修正出席率
前々回	19/24 名	79.17%	21/24 名	87.50%
今回	20/24 名	83.33%	会員総数	25 名

- ・今回の欠席者：紀平・玉置・土屋龍・儘田
- ・前々回のMU者：小林 6/16 (せせらぎ三島)
紀平 6/29 (三島西)

慶事発表

- ・入会記念日：7/2 萩原真琴・7/6 中山博司

スマイル報告

親睦委員 原田精治

- ・長友範充：本日から新年度です。これから1年間よろしくお願ひします。
- ・中山博司：長友会長、2度目の会長大変でしょうが頑張ってください。
- ・木内昭夫、山口和弘：新年度スタートにエールを送ります。
- ・雨宮・飯田健吾・竹村・石井・小野・土田・土屋雄・小島・萩原：新年度頑張ります。

幹事報告

幹事 土屋雄三

- 7/11 ガバナー補佐公式訪問 今年度計画発表
2500回記念例会 全員出席を！
- 7/19 三島ロータリークラブとの合同例会
ガバナー公式訪問 会場：呉竹 点鐘：12:30

今年度基本運営方針

今晚は、いよいよ本年度が始まりました。2017-18年度です。これから約1年間ですが、会員の皆様方の御協力をよろしくお願いします。

さて、今年度はロータリーにとってどんな年になるでしょうか？これから述べることはあくまで私見ですが、ロータリーはここから数年が一つの大きな節目になるであろうと思っています。

ロータリーは数年来の会員数の減少をみても分かるように、衰退ぎみとなってきています。それはロータリーに限ったことではなく似たような歴史のある団体はほぼ皆そうではないかと思えます。よく比較されるライオンズにしても、またソロプチなどにしても、会員が増加して伸展してきているなどという話は聞きませんし、また自分が長年携わっている他団体も、会員数は増えず、また高齢化し内容はマンネリ化しています。

その一番の原因は、少子高齢化・地域経済の沈滞・産業構造の変化など、社会構造が大きく変化していることでしょう、またNPO法人などいろいろな団体・組織の増加もあると思えます。

世界的にも、先進国は同じような状況だと思われまます。したがってRIも大きな変革を強いられているのではなかと思えます。

PETSの中でガバナーより国際協議会の報告がありました。いろいろな方が講演をされているわけですが、その中でミティ・チャン氏というシリコンバレーの実業家がこのままではRCは今世紀中には消滅しかねないという話をされたということが頭に残っています。

そのような中でRIも今回大きな変革を考えたのだと思えます。それが最終的に吉か凶かは分かりません。しかしやらざるを得ない、変わらざるを得ない、良ければ盛り返して行くでしょうし、ダメなら少しずつ衰退していく。そんな分かれ目の時期に来ているのではないのでしょうか。

今回の規定審議会の決定によりクラブ運営にかなりの自由度が持たされました。大きく変えたクラブ、また全く変えていないクラブなどいろいろですが、様子を見ながら少しずつ変えていくというクラブが多いように見受けられます。

伊豆中央もいきなり大きな変革は出来ませんが、少し変えていきたいと思えます。そしてよさそうならまた少し変えていく、そんな方法で2~3年かけて変革して行くことが現状では良いのではないかと思えます。

ロータリーの目的や中核的価値観は守りながら、運営

面では時代に合わせて行く。そのような考えです。

そして、この変化の基本は大きく分けて、①運営の効率化と会員負担の減少②RCのブランディング、この2点に絞られると思います。

① 運営の効率化と会員負担の減少

会員を増やすには、特に若い人たち、女性、勤務者などを取り込むには、負担を減らす必要があります。負担とは、時間的また金銭的負担です。時間的にはやはり例会数の減少、またはオンラインでの例会、メイクアップの増加などになってくるでしょう。通常の場合時間に出にくい人を増やすにはそのような方法を進めて行くしかないと思えます。

また運営を簡素化し、余分な手間を減らしていくことも必要です。そのためにはやはりIT化を進めて行かなければなりません。限られた時間ですから、余分な負担や手間を減らしロータリーらしい活動の時間を増やすということです。

このような、金銭的また時間的負担の軽減と効率化は、会員の増強、またロータリーらしい活動を推進するためには是非とも必要だと考えます。

②ロータリーのブランディング

ロータリーのブランディングとは、要するに「人々に共通のロータリーの好ましいイメージを与える」、他団体とロータリーの差別化を図るということです。

今、世界中に、もちろん日本にも非常に多くのNPO法人やボランティア団体などが存在しています。

実際、ほとんどの人にはロータリーとライオンズの区別も付きません。ロータリーが何をしているのかも知らないと思えます。知らないだけでなく、ロータリーの調査では誤解も非常に多く、またあまり好ましくないイメージも見受けられるようです。

最近ロータリーのブランディングとか公共イメージ向上が叫ばれるのは、一般の人々に対してロータリーの認知度を高め、また、良いイメージを確立するということが会員増強にしても、事業を行うにしても、非常に重要だということです。

なにをしているか分からない団体とか、イメージの悪い団体には入会しようとする人はいません。向こうからロータリーに興味を持つ、また入りたいと思う、そういうロータリー、また伊豆中央RCというブランドを構築する、つまりブランディングということが、他の組織・団体との差別化を図り、会員を増やしていくには是非とも必要なことだと思えます。この2点を基本に次年度を運営していきたいと思えます。

(基本運営方針の詳細については計画書を参照)



米山梅吉肖像画
白瀧幾之助 画伯画

2017-18

RI 会長 伊ノH.S. ライター ガバナー 松村友吉
会長 長友範充 幹事 土屋雄三
会報委員会 浜村真由美・木内昭夫・水谷隆一・土田 哲

SAA 中山博司・小野 信 S.L. 水谷隆一



伊豆中央ロータリークラブ ROTARY CLUB OF IZU-CHUO

週報 第2500回例会

2017.07.11(火) 於 サンバレー富士見

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 小野住環境ビル 2F

TEL (055)976-6351 FAX (055)976-6352

例会場 ホテルサンバレー富士見 静岡県伊豆の国市古奈 185-1

TEL (055)947-3100 FAX (055)947-0564

URL www.izuchuo-rc.org

会長挨拶

会長 長友範充



本日はガバナー補佐訪問、そして今期委員会計画発表ということになっております。協議会でもありますので、よろしくお願い致します。

ガバナー補佐は当クラブ会員である土屋龍太郎さん、そして事務局は竹村淳一郎さんですが、今日はあくまでガバナー補佐と事務局ということで対応をお願いしたいと思います。

また本日は、第2500例会ということですが、当クラブの創立は昭和40年(1965年)11月ですから、52年間。一口に2500回と言っても、52年間ほぼ毎週の例会を積み重ねてきたということですが、考えて見ればすごいことだと思います。

昭和40年がどんな時代だったか少し調べて見ました。いざなぎ景気ということで、3C時代(車、カラーテレビ、クーラーが本格的に普及期に入った時代)、流行ったものは、まずプロレスの視聴率が50%ごえ。ツイスターとかエレキギターがブームとなり、ファッションではアイビー、そして女性はパンタロン。ヒット曲は加山雄三の「君といつまでも」、都はるみ「涙の連絡船」、北島三郎「兄弟仁義」といったところのようです。古き良き時代かなと思います。

ちなみに、そのときのメンバー数が26名ということですが、現在25名ですからほぼ同じメンバー数です。時代は変わりましたが当初の人数に戻り、ここから新たにスタートすると考えればいいのではないのでしょうか。

今日も、楽しく元気な例会をよろしくお願い致します。

ゲスト・ビジター

副会長 古藤田博澄

- ・ガバナー補佐:土屋龍太郎
- ・ガバナー事務局:竹村淳一郎
- ・野球連盟田方支部:森下真孝氏

出席報告

委員長 小林貞博

	出席総数	出席率	メークアップ	修正出席率
前々回	22/25 名	88,0%	23/24 名	95,8%
今回	24/24 名	100%	会員総数	25 名

- ・今回の欠席者:なし
- ・前々回のMU者:木内昭夫 6/27 (砺波RC)

慶事発表

- ・入会記念日:7/2 玉置 敏

スマイル報告

親睦委員 土田 哲

- ・土屋雄三・竹村・大川・萩原・原田・土田・山口・小野・長友:ガバナー補佐、1年間頑張ってください。

幹事報告

幹事 土屋雄三

- ・7/19:三島ロータリークラブとの合同例会 ガバナー公式訪問
会場・時間:呉竹 12:30点鐘
合同例会終了後、IM会場見学(東レ研修センター)
- ・九州集中豪雨被災募金に協力をお願い致します。

委員会報告

- ・IM実行委員会(飯田健吾):合同例会終了後、IM会場見学(東レ研修センター)
- ・クラブ管理委員会(古藤田):例会終了後、オープン例会委員会開催

少年野球田方助成金贈呈

静岡県少年野球連盟田方支部 支部長 森下真孝氏



長年、我がクラブが青少年健全育成事業の一環として支援している少年野球連盟に恒例の助成金を贈呈いたしました。

第 35 回選抜少年野球田方大会実施日程

- ・ 8 月 20 日 (日) 9:00 開会式 (菰山運動公園野球場)
10:00～ 1・2 回戦 18 試合 (6 会場)
- ・ 8 月 26 日 (土) 9:00～ 3・4 回戦 12 試合 (4 会場)
- ・ 8 月 27 日 (日) 9:00～ 準決勝・決勝 3 試合 (1 会場)

ガバナー補佐公式訪問

第 2620 地区静岡第 2 分区ガバナー補佐 土屋龍太郎



○近況報告

長泉 RC、裾野 RC などやかな例会、開会前の時間の有効活用

御殿場 RC 例会終了後、約 1 時間かけてクラブ協議会。独自の運営・文化

伊東 RC 理事会に出席、小さな部屋だが事務所を持ち、理事会開催。

近隣の RC の訪問を通じて、効果的クラブ運営のヒントを持ち帰りたい

○ガバナー補佐とは

- ・ガバナーは、地区の管理運営とクラブ支援のため、地区チームを編成する。
- ・ガバナーの地区運営及び分区内クラブの運営に関して、ガバナーを補佐する。
 - a 次期クラブ会長と会い、クラブの目標について協議し、活動計画に助力する
 - b 公式訪問前に、クラブ協議会に出席し、クラブの状況をガバナーに報告する
 - c 四半期に一度は各クラブを訪問する。
 - d ガバナーの公式訪問の予定を調整し、随行する

○ガバナー方針の伝達

- ・イアン H.S.ライズリー会長のテーマは「ロータリー：変化をもたらす」
- ・松村ガバナー「未来のロータリーを考える～変化す

べきものと守るべきもの～」

○地区目標

- ・ロータリークラブ・セントラルの 100%活用
- ・会員増強目標の達成
- ・ロータリー公共イメージの向上と END POLIO への支援 10/24 ポリオディ
- ・分区再編準備

○分区再編

- ・ 1 月 28 日 地区戦略計画委員会拡大会議 現・次期ガバナー補佐
- ・ 2 月 25 日 地区チーム研修
- ・ 3 月 17 日 第 2 回次期ガバナー補佐会議、PETS 修正案提示
- ・ 6 月 28 日 第 2 回次期ガバナー補佐会議

○今後の対応

- ・グループ運営並びにガバナー補佐選出について、ガバナー補佐主導で協議
- ・地区運営規約改定

○IM 平成 30 年 2 月 17 日 (土) 東レ研修センターにて、テーマは米山梅吉翁

今年度委員会事業計画

土屋幹事司会のもと、今年度委員会事業計画が各委員長から発表されました。

- ・管理運営委員会：古藤田 博澄委員長
- ・親睦・友好委員会：萩原真琴委員長
- ・出席委員会：小林貞博委員長
- ・会報委員会：水谷 隆一委員 (代理)
- ・SAA (会場監督)：玉置 敏委員長
- ・会員増強委員会：紀平幸一委員長
- ・公共イメージ向上委員会：山口和拡委員長
- ・奉仕プロジェクト委員会：小野 信委員長
- ・インターアクト委員会：竹村淳一郎委員長
- ・米山委員会：雨宮演邦委員長
- ・ロータリー財団委員会：石井政一委員長
- ・クラブ研修リーダー：土屋龍太郎委員長



米山梅吉肖像画

2017-18

RI 会長 イン.H.S. ライター ガバナー 松村友吉
会長 長友範充 幹事 土屋雄三
会報委員会 浜村真由美・木内昭夫・水谷隆一・土田 哲

SAA S.L. (三島 R.C.)



伊豆中央ロータリークラブ ROTARY CLUB OF IZU-CHUO

週報 第 2501 回例会 (三島合同) 2017.07.19 (水) 於 呉竹

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 小野住環境ビル 2F
TEL (055)976-6351 FAX (055)976-6352
例会場 ホテルサンバレー富士見 静岡県伊豆の国市古奈 185-1
TEL (055)947-3100 FAX (055)947-0564
URL www.izuchuo-rc.org

会長挨拶

三島 R.C. 会長 高原敏廣



本日は、松村友吉ガバナーの公式訪問日です。伊豆中央 RC との合同例会です。松村ガバナー、土屋ガバナー補佐、伊豆中央クラブの皆様ようこそいらっしゃいました。もうひとかたアメリカロサンジェルス・リトル東京 RC、中曽根牧子さんの紹介を後ほどいたします。

ここで、ガバナーのプロフィールを少しご紹介します。焼津ロータリークラブ所属、1953年9月4日生まれ。京都大学法学部卒業、いちまるグループ代表です。ロータリー歴は1998年9月焼津ロータリークラブ入会、2011年同クラブ会長に就任。現在 D2620 ガバナーに就任。

次に中曽根牧子さんの略歴を紹介します。甲府市出身、東京外語大学ドイツ語学科卒業後、ロータリー財団国際親善奨学生として、ドイツ・フライベルク大学に留学、帰国後、日本経済新聞本社記者、日経アメリカ社ロス支局記者、2004年グレンデル RC 入会、2008-2009年度、同 RC 会長、

2015-2016年度、リトル東京 RC 創設会長。現在は D5280 ガバナー補佐。

私は、昨日、午後5時30分過ぎにスリランカより成田に着きました。二つの学校 (Krinda, Epawalla school) の贈呈式と工事中の各校 (Unagolla school) を訪れました。現地では大変な歓迎を受け、校長始め、父兄、生徒から沢山の謝辞を頂きました。ニカウエラティヤ RC の特別例会にも出席し、私どもクラブ60周年に出席頂いたメンバーともお会いでき、現地クラブとのより深い絆ができたと思います。また、ニカウエラティヤ RC メンバー有志に毎日同行してもらい、ご案内を頂きましたことに深く感謝しています。

ゲストビジター

- 松村友吉 (ガバナー・焼津 RC)
- 倉嶋伸康 (地区幹事・焼津 RC)
- 村田昌弘 (地区副幹事・焼津 RC)
- 土屋龍太郎 (ガバナー補佐・伊豆中央 RC)
- 竹村淳一郎 (ガバナー補佐事務局・伊豆中央 RC)
- 中曽根牧子 (LA リトル東京 RC)

出席報告

委員長 小林貞博

	出席総数	出席率	メークアップ	修正出席率
前々回	20/23 名	86.96%	23/23 名	100%
今回	19/22 名	86.36%	会員総数	25 名

- ・今回の欠席者：木内、浜村、儘田
- ・前々回の MU 者：紀 平 7/13 (三島西 RC)
土屋 (龍) ガバナー補佐会議
儘 田 7/7 (せせらぎ三島)



1. ロータリーの経験

(1) 私のロータリー歴

私は焼津ロータリークラブに所属する、松村友吉と申します。ロータリー歴は、1998年入会で今19年目に当たります。父がチャーターメンバーでしたが、体を壊しロータリーを退会すると言うことで、父と交代で44才の時入会しました。入会式のことはいまでも覚えていまして、緊張しながら入会のご挨拶をして席に戻ると、大先輩が寄ってきて「おまえの親父さんの面倒を我々は見たのだから今度はおまえが我々の面倒を見る番だ」と言われ、まずいとこに入会してしまった、と大いに後悔しました。実際は優しい先輩たちで、心配することは無かったのですが、あまり熱意も無く、出席率も良くない不良会員として数年過ごしました。委員長の仕事が回ってきて、プログラム委員長、職業奉仕委員長、会員増強委員長等を歴任し、だんだんクラブにも慣れてきて、数年前に会長を引き受けました。しかし、地区に出向した経験もなく、ガバナー補佐にもなったことも無い私が、先輩からガバナーの話を受けたときは、本当にいいのかな、なれるのかな、と考えました。しかし、J Cの時から癖で、請われたら直ぐに、はい喜んで、とお引き受けするのがいいことだと思い込んでいて、勢いで受けしまいました。

2年前にガバナーノミニージェジグネートになり、不安を抱えながら、2年間地区やR Iのことを学んできました。それは密度の濃いいい準備期間をいただいたと思っております。

(2) ロータリーの組織で気づいたこと

この二年間、ノミニーとエレクトとしていろいろな会議に出席し、ロータリーのことを学んでいるうち

に、二つのことに気づきました。すでにそんなことは百も承知だよという方もいらっしゃるかと思いますが、私には大変新鮮な発見でしたので、述べてみたいと思います。

一つは、ロータリーには、日本の組織がなく、我々地区とクラブは直接R Iと繋がっているということです。私はJ Cにも所属していて、地区会長とかさせていただいたのですが、J Cでは、1番中心にあつて力のある組織が日本J Cで、そこには会頭ほか多くの役員や事務局員が居る、しかも霞ヶ関の近くに立派な会館も持っていて、全国のJ C組織を統轄運営しています。地区も東海地区や四国地区というように地域の名称が付き、日本J Cの統括を受けながらも独立した地域独特の運営をしています。ロータリーには日本ロータリーという組織はなく、R I日本事務局がオフィスを構えて活動していますが、あくまでR Iの組織で、独立した日本の組織ではありません。地区はすべてナンバリングで呼ばれ、静岡・山梨地区は2620地区と、ある意味、味も素っ気も無い呼称になっています。私たち地区はR Iと直接つながり、ガバナーはR Iの役員になっています。各クラブは、R Iに対して、直接もの申せますし、投票資格も持っています。この組織構造の違いは大変大きく、我々ロータリアンは、よくよくこの組織のあり方を認識する必要があります。

二つめは、ロータリーの役職が単年度制であるなかで、毎年うまく引き継ぎあるいは更なる発展や飛躍をするための仕掛けが、大変絶妙に組み込まれていることです。例えば、ガバナーの引き継ぎの仕掛けで言えば、2年前からノミニー・1年前からエレクトとして多くの会議に出席する仕掛けがあり、また直前前任者のガバナー・エレクトと常に顔を合わせ情報交換する機会が大変多く設定されています。GETSや国際協議会はもちろんのこと、研究協議会やゾーン毎の多くのセミナーで現在もっとも必要とされるロータリーの課題を学び、自分のガバナー就任にむけての事前準備が否応なくできるように仕組みられています。また、クラブにおいても、会長エレクトは会長の補佐役として常にそばに控え、1年間会長としての役割や振る舞い方を身近に見て学び、会長就任時にはある程度の知識と覚悟を持ち合わせるように仕組みられています。このあたりの仕掛けの絶妙さは、やはり発祥の地アメリカの戦略的思考方法がベースにあつて100年かけて設計されたものであるように思います。もし我々日本の中小企業が1年発起して世界に打って出てグロー

バル企業を1から立ち上げようとするなら、このロータリーの組織運営に組み込まれた絶妙な仕組みを真似るといいと思いました。とにかくうまく出来た組織であると思います。

2. イアン・ライズリー会長のテーマ

(1) 「変化をもたらす」の意味と背景

本年度のRI会長イアン・ライズリー氏については、いろいろな機関誌でご覧になっているかと思いますが、再度申し上げますと、オーストラリアのメルボルンの郊外にあるサンドリングラムRCのメンバーで、公認会計士として成功している方です。奥さんともに体が大きく、また大変陽気な方です。この方のテーマが、「ロータリー:変化をもたらす」というもので、これについて改めてご説明いたします。変化をもたらす主体はロータリーです。そして、変化をもたらす対象は、二つあります。一つは外に向けて。112年の歴史を持つロータリーはこの間様々な活動を世界中で行ってきて、世界をよりよくするために変化をもたらしてきました。これからも同じように外に向けて我々は活動を展開していくわけですが、特にサンディエゴで言われたのが、行動の大切さです。Rotary In Actionという標語をたくさんいただきました。とにかく行動して結果を出していこう、ということです。中でも、END POLIOについては、ロータリーとしても大変な成功事例だとしていて、まもなく撲滅が実現し、次の大きな事業に取りかかるタイミングであるが、次の事業もEND POLIOのように、世界的な規模で、他の世界的な機関と協力し合いながらロータリーの良さや強みを発揮する事業を見つけていきたいと言っていました。とにかく、外に向けてよりよい変化をもたらしていきましょう、ということです。

次に、内に向けての変化です。近年の規定審議会での議論を踏まえて、ロータリークラブの運営方法に柔軟性を持たせ、運営をやりやすくしていこうという動きがあります。これについては、イアン・ライズリー会長から、世界の環境変化への対応が必要である、というお話がありました。世界の環境変化は三つありまして、1. IT化 2. グローバル化 3. 少子高齢化です。1. IT化は、我々は今や否応なくこの流れに飲み込まれている訳ですが、まずはRIの用意したロータリークラブ・セントラルという情報ツールをクラブで存分に使いこなすこと、更に個人個人でマイロータリーのパスワードを登録して、ロータリー情報を自らやりとりすること、が求められています。この

流れは後戻りしませんから、なんとか食らいついて変化に対応していく必要があります。二つめのグローバル化は経済の世界で常に言われることですが、ロータリーが200カ国に広がり、123万人の国や言語や生活習慣の違う人々が今やロータリアンとして世界で活動する時代ですから、組織の運営方法についてもこの面からも柔軟性が求められています。昨年の規定審議会でも世界の国々の特に発展途上国から、強い要請があったようです。つまり、毎週毎週決まった時間に全員が顔を揃え会合を持つことが、発展途上の国のロータリークラブでは難しいので、もっと柔軟な規定にして、運営方法に幅を持たしてほしい、という要求が通りました。

因みに来年のRI会長はアフリカのウガンダの人ですが、先進国ロータリーの意向が100%まかり通る時代では無くなってきた、ということです。

三つめは、先進国における少子高齢化です。これまで長い間ロータリー活動を牽引してきた先進国では、程度の差はありますが、少子高齢化が進んでいます。なかなか会員の数が増えない、増えないどころか減っていく傾向にあります。RIは必死で会員維持増強を訴える背景に、この少子高齢化があります。会員の減少は、直接組織の活力低下になっていきます。

RIはここ15年間会員の増強のために試験的にいろいろな試みをしてきました。その結果、組織運営に柔軟性を持たせ、会費の減額や例会の頻度を減らす等が一定の効果を示した、ということで、RI理事会としても、クラブ運営に柔軟性をもたせることを後押しした、ということです。

イアン・ライズリー会長のいう内に向けた変化は、これら時代の変化にうまく対応するために、組織づくりや運営方法に変化をもたらすことも必要だ、という示唆であると思っています。

(2) 私の考え方

私自身、サンディエゴでイアン・ライズリー会長のテーマを初めて耳にした時は、実はあまり大きな違和感は感じませんでした。なぜなら、私自身中小企業の経営者として1番心がけていることが、時代の変化に対応することであり、そのために常に自分の会社ですこしずつ変化をもたらす、商品やサービスそして組織そのものが陳腐化しないようにしているからです。経営者の役割はそこにあって、日々のルーティーンをこなすことは、経営者の第一の務めでは無いと思っています。よくゴルフを経営者仲間ですると、プレイ中常に携帯からいろいろな指示を出している経営者が

いますが、その人が後輩なら、ちょっとそのやり方は違うんじゃないの、と言ってしまいます。日々のルーティーンをこなすことも大事ですが、大きい流れを捉えて会社運営に変化をもたらすのが経営者の役割であると思います。

そういう意味では、今年のイアン・ライズリー会長のテーマは、全く違和感はありませんでした。

ただ、これまでロータリーを一生懸命やられてきた先輩のロータリアンから、こんなに規律を緩めていいのか？あるいは、ロータリーの本来の精神も揺らいでいるのではないかと懸念が多々示されています。これから会員の増強に力を入れ、若者・女性・あるいはサラリーマンの方々を数多く勧誘していけば、会員の質の低下とか、心配される向きもありよく理解できるのですが、本当に数を絞り、会員数が減少してもロータリーのこれまでの質のみに拘っていくのがいいのか、まだここ当分何年かは議論が続くのではないかと思います。私の考え方を聞かれれば、企業経営と同じで、環境に合わせて組織を変化させていき、それがむしろ組織強化に繋がる、というのが私の考えです。やはり、一定の会員数は必要です。私のクラブでは、51年目私が会長の時、初めて女性会員を入れ現在3名、若者も多く入って平均年齢は4才下がりましたし、サラリーマン会員も専門知識を生かし、大いに活躍してくれています。年配の会員もいま一生懸命地区運営を支えてくれています。あまり恐れず広く人材を求め、入会のタイミングでうまく指導をしていくことが大切なのではないかと思います。

また、申し上げたいのが、組織運営の方法に変化をもたらしても、ロータリーの精神の根幹は、変えてはならない、ということです。イアン・ライズリー会長もこのことは明確に言われていました。ロータリーの目的、5つの中核的価値、四つのテストは全く変わっていません。変えていくものと、変えてはいけないものをしっかり見極め、未来に向けてロータリーをしっかり牽引して行ってほしいと思います。

1. 未来のロータリーを考える

2018年はポール・ハリス生誕150年、そして米山梅吉生誕150年、さらに2020年は日本のロータリー100周年ということで、100周年記念委員会も出来、これから記念誌が発行され、将来に向けたビジョンが発表されるのだと思います。また、先ほど申し上げた運営方法の変化も打ち出された時期ですから、いま未来に向けてロータリーについていろいろな議論がなされるべき時期ではないかと考えてい

ます。これは入会したばかりの人を含めて、若いもベテランも素人も含めて議論していいのではないかと思います。確かに、これこそロータリーだという神髄はあるでしょうし、そこに信念を持っている方々もいらっしゃるでしょうし、この機会に互いの切磋琢磨も含めて考えを交換し合うことは、大変有意義だと思います。ロータリーの学びの手法に、アイデア交換というのがあります。サンディエゴの国際協議会の半分の時間は、このアイデア交換に費やされました。

そんな気軽な明るい気持ちで、互いのロータリアンが考えをぶつけ合うのもいいかもしれません。

果たして100年後のロータリーはどうなっているのでしょうか？サンディエゴの国際協議会の本会議の最後に、シカゴのEクラブの会員で20代のシリコンバレー経営者が、蕩々と未来のロータリーについて、危機感を交えて語りました。この若者に未来のロータリーを長々と語らせたのも、RIの意思だと思います。われわれも1ロータリアンとして、未来のあるべきロータリーの姿について語り合ってもいいのではないかと思います。これからの若者が入会したいと思うロータリー、この会に入って一緒に活動してみたいと思うロータリーにしていかななくてはなりません。そのためには、まずは我々自身が変わっていくべきなのか、あるいは、日本のロータリアンとして、もっともっとRIに対して言うべきことを言うべきなのか、そして世界全体のロータリアンとしてどんな行動をとっていくべきなのか、話はどんどん大きくなりますが、100年単位の視野で考えることですから、萎縮することなく本音でいろいろ議論出来たらと思います。是非、みなさんもこの機会を捉え、未来のロータリーについて考えて行ってほしいと思います。





米山梅吉
Yamaoka Umekichi
1886-1949

2017-18

RI 会長 イ.H.S. ラズリ ガバナー 松村友吉
会長 長友範充 幹事 土屋雄三
会報委員会 浜村真由美・木内昭夫・水谷隆一・土田 哲

SAA 小野 信・原田精治 S.L. 水谷隆一



伊豆中央ロータリークラブ ROTARY CLUB OF IZU-CHUO

週報 第2502回例会

2017.07.25 (火) 於 サンバレー富士見

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 小野住環境ビル 2F

TEL (055) 976-6351 FAX (055) 976-6352

例会場 ホテルサンバレー富士見 静岡県伊豆の国市古奈 185-1

TEL (055) 947-3100 FAX (055) 947-0564

URL www.izuchuo-rc.org

会長挨拶

会長 長友範充



前回の例会は、三島RCとの合同でのガバナー公式訪問ということで、たくさんの会員の皆様にご出席いただき、ありがとうございました。

松村ガバナーのお話も、RIの現状やロータリーの方向性を、わかりやすく説明いただき、たいへん参考になりました。

また、例会後には、東レ研修センターにIMの下見に行っていたいただき、ご苦労様でした。

その後、米山記念館に伺い、少しIMの話をさせていただきましたが、その中で、今回のIMのテーマを米山翁・米山記念館にするならば、それについてメンバーがそれなりに知っていなければならないであろうと考え、「米山梅吉翁物語」という本を購入してまいりました。事後承諾で申し訳ありませんが、スマイルと引き換えに本をお渡しいたしました。

メンバー皆様方には、この本を読んで米山翁について再度学んでいただきたいと思っております。

次に、8月22日の移動例会についてです。日曜日に月光天文台に下見に行っていました。土曜日にリニューアルオープンしたばかりで、展示室や内容も一新されており、景色も良く、会員だけの移動例会ではもったいとの印象を受けました。

そこで、急遽、家族例会への変更を提案いたしました。

夏休み中でもありますし、是非お子様、お孫さん、ご家族を連れてのご参加をお願い致します。きっと喜んでいただけたと思います。

最後に、会報についてです。本日、前回と前々回の2回分の会報をお配りいたしました。

今年度最初の1回は私が作成しましたが、前々回から、浜村委員長以下、木内さん、水谷君、そして土田君という会報委員会のメンバーに大変頑張っていたいただき、会報を会報委員会の中で編集・印刷するという体制が整いつつあります。今回の会報も土田新会員に作成・印刷していただきました。

会報委員会には、これから例会毎に会報を作成するという負担をおかけします。是非会員の皆様も、会報委員会の負担を軽減すべく、会報作成に全員がご協力いただきたいと思っております。

今日の例会は、総会として前年度決算の報告・承認をいただきます。よろしくお祈り致します。

出席報告

委員長 小林貞博

	出席総数	出席率	マークアップ	修正出席率
前々回	24/24 名	100%	24/24 名	100%
今回	17/24 名	70.83%	会員総数	25 名

・今回の欠席者：石井、紀平、小島、中山、浜村

慶事発表

- ・長友範充 8月2日 入会記念日
- ・土田 哲 8月4日 奥様誕生日



スマイル報告

親睦委員 大川 公

- ・飯田(鍵)、飯田(晃)、大川、小野、古藤田、小島、土田、土屋(雄)、長友、中山、原田、水谷

今日はお世話になります(本日のスマイル合計 18,000円)

- ・8/1 特別休会
- ・8/8 会員卓話、土屋龍太郎会員へ変更
- ・8/15 特別休会

近隣クラブ・例会・例会会場

沼津北ロータリークラブ(沼津リバーサイドホテル)

- ・8/8 夜間例会
- ・8/15 休会

- ・8/15 休会

沼津西ロータリークラブ(ニューウェルサンピア沼津)

- ・7/29 家族例会

三島ロータリークラブ(呉竹)

- ・8/16

三島西ロータリークラブ(呉竹)

- ・8/17

せせらぎ三島ロータリークラブ(呉竹)

- ・8/18

委員会報告

- ・IM 実行委員会(飯田鍵吾): 合同例会終了後、IM 会場見学(東レ研修センター)
- ・クラブ管理運営委員会(古藤田): 8/26 エンドポリオ募金

決算総会

昨年度会長 山口和祐

- ・決算諸表報告及び詳細説明 前年度幹事 古藤田博澄



7月11日飯田鍵吾監査立会いのもと、ただ今、前幹事報告の決算報告書を精査していただきました。

昨年、予算建てをするにあたって、支出の削減を鋭意検討しましたが、万一の場合に備え、社会福祉基金から500,000円を繰り入れての収入予算を作らせていただきました。結果、決算ではなんとか約40万繰り越すことができました。収支の見直しは、何年も議論されてきました。まだまだ削れる部分はあるかと思えます。しかし、今までと同じ運営では、あまり効果は期待できません。上納金ばかりで、奉仕活動予算が少なすぎるとのご批判もあります。他クラブも苦勞してぎりぎりまで削っているとの事ですので、参考にしながら今後の伊豆中央RCの活動を進めなければなりません。長友年度では、金額の多い部分(地区、RI負担金、事務局費、例会費、委員会費など)の再検討を理事会で重ねた結果、第一歩として週報制作をプリンターで自主制作する事を決断しました。

又、スマイルの減少問題も、会員各位に大いに呼びかけて、ほのぼのしたクラブ作りの意味からも、会員間の和を濃くする為にも、協力をお願いすべきかと思

います。周年積み立ても、少ない予算でも、出来る範囲の計画を立て、実施すればいいのではとのお話しが有ります。

時代が変わり、世界的に激動の時代となりました。伊豆中央は伊豆中央らしく、地域に存在感を示しながら、一步一步前へ歩んでゆきましょう。ご承認ありがとうございました。

伊豆総合高校

伊豆総合高校は、平成22年4月に大仁高校と修善寺工業高校の統合によりできた開校8年目の学校です。

私たち郷土芸能部は、天城連峰太鼓様ご支援のもと、活動し、今年で21年目となります。

現在は、3年生4人、2年生14人、1年生7人の部員で活動しています。日々の練習では、一人ひとりの力を向上させることだけでなく、チームワークを大切に、お互いを補うことを意識し、感謝の気持ちを忘れず、活動に取り組んでいます。

昨年12月に行われた県大会で、優秀賞をいただき、8月には宮城県名取市で行われる全国高等学校総合文化祭 郷土芸能部門に参加してまいります。応援よろしくお願いたします。



東レ研修センター



月光天文台





2017-18

RI 会長 イノH.S. ラズリ ガバナー 松村友吉
会長 長友範充 幹事 土屋雄三
報委員会 浜村真由美・木内昭夫・水谷隆一・土田 哲

SAA 小野 信 S.L. 水谷隆一

斉唱 「君が代」「我らの生業」

会長挨拶

会長 長友範充



8月になりました、今日は8月最初の例会です。
よろしくお願い致します。

7月は新年度が始まったばかりということで、委員会計画・総会、またガバナー訪問などでほぼ1ヶ月が終わりました。

今月8月はお盆休みなど休会の多い月ですが、今月後半から11月にかけて本年度の事業が目白押しになってきます。今日も例会の後、第2回理事会、そして第2回オープンロータリー実行委員会が予定されています。20日には田方少年野球、22日は夏期家族例会、また26日には第1回エンドポリオ募金と、それぞれの事業も始まってまいります。会員の皆様のご参加・ご協力をよろしくお願い致します。

特に、エンドポリオ募金2回、それに続いてのオープンロータリー例会という一連の事業は、伊豆総合高校との連携で行う事業であり、今年度前半のメインの事業になります。現在、古藤田副会長を中心に実行委員会で企画していただいておりますが、メンバー全員の協力が必要です。ご参加・ご協力よろしくお願い致します。

伊豆総合高校 IAC については、今後の対応にいろいろな課題が残されていますが、これら一連の事業は伊豆総合高校と我々とのこれからの関係性、IACのこれからの方向性を考える上でも非常に良い機会になるのではないかと思います。

事業に参加する中から、各メンバーがそれぞれ伊豆総合高校 IAC の今後について考えていただければと思います。

出席報告

委員長 小林貞博

	出席総数	出席率	マークアップ	修正出席率
前々回	19/22 名	86.36%	21/22 名	95.45%
今回	21/25 名	84.00%	会員総数	25 名

・今回の欠席者：飯田（鍵）、浜村、儘田

慶事発表

・石井政一 7月28日 入会記念日

スマイル報告

親睦委員 大川 公

・竹村淳一郎

雨宮老師、先日は菰山高校空手部生徒に座禅会を催していただきありがとうございました。貴重な体験として子供たちの記憶に残ると思います。

・玉置 敏

暑中お見舞い申し上げます。

(本日のスマイル合計: ¥5,000-)

幹事報告

幹事 土屋雄三

・8/15 特別休会

・8/22 夏季家族例会(月光天文台、花の木)



伊豆の国市 [明るい社会をつくる会]

立正佼成会の庭野日敬師が提唱した理念「明るい社会づくり運動」

- ・ゴミを捨てない心を育てること、生かされている感謝の心や思いやりの心を育てることこそ、明るい社会づくりの根本精神であります。
- ・たとえ小さくとも一つのことを実行に移せば、その成果は素晴らしい実りをもたらすのではないのでしょうか。

物の世界と心の世界（提唱の第一声）

- ・物質的に恵まれてきて、みんなが幸福になったかという、そうとも言いきれません。そこに、現代人が直面している大きな課題があるわけです。
- ・人の役に立つことは喜んでやる。そんな人づくりが進めば、社会が明るくなる。

特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動

各地に地区協議会

- ・「明るい社会づくり運動」は、「特定非営利活動法人（NPO 法人）明るい社会づくり運動」（2001年4月2日）として歩いていくことを決意いたしました。
- ・深刻な社会問題（青少年事件の凶悪化、児童虐待、年間3万人を超える自殺者の急増等々）に見られるように揺れ動く人間の心の中に、中心的価値（人間としての真の生き方）を取り戻していきたいと思えます。

伊豆の国市 明るい社会をつくる会

平成18年4月23日設立総会。

- ・早船進氏（伊豆中央 RC 第38代会長、立花企画社長 平成19年9月30日ご逝去）
- ・宗教的或は政治的な色合いは出さない。
- ・事業者と市民が一体となって事業を推進する。

- ・知恵のある人は知恵を出し、お金のある人はお金で、思いのある人は汗をかく。

ロータリー活動との関わり

- ・I survey の典型
- ・地元の地域社会を対象とした活動

明るい社会をつくる会の事業

黄色帽子、狩野川川遊び大会、伝統芸能フェスティバル、ベンチプロジェクト

ロータリーの地域社会奉仕

- ・ロータリー財団の「未来の夢計画」における6つの重点分野
平和と紛争予防／紛争解決
疾病予防と治療
水と衛生設備
母子の健康
基本的教育と識字率向上
経済と地域社会の発展
- ・先進国日本の社会が抱える課題への対応
地域の将来を担う人材育成 ⇒ 地域社会の疲弊・崩壊対策
明るい社会をつくる活動 ⇒ 市場原理・競争原理優先に伴う病が蔓延。



伊豆中央ロータリークラブ ROTARY CLUB OF IZU-CHUO

週報 第 2504 回例会

2017. 8. 22 (火) 於 月光天文台

事務所 静岡県三島市中央町 4 番 9 号 小野住環境ビル 2F

TEL (055) 976-6351 FAX (055) 976-6352

例会場 ホテルサンバレー富士見 静岡県伊豆の国市古奈 185-1

TEL (055) 947-3100 FAX (055) 947-0564

URL www.izuchuo-rc.org



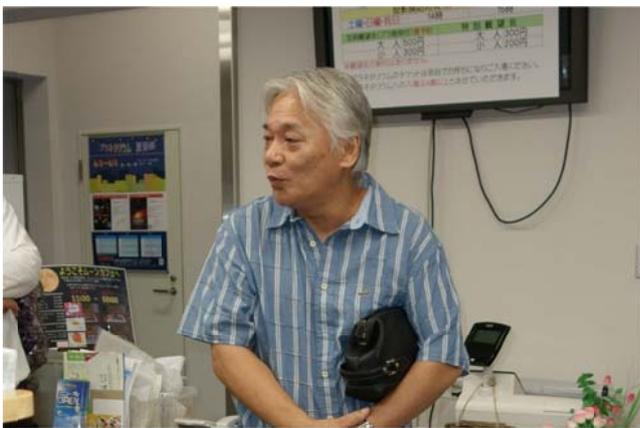
2017-18

RI 会長 イン.H.S. ライター ガバナー 松村友吉
会 長 長友範充 幹 事 土屋雄三
会報委員会 浜村真由美・木内昭夫・水谷隆一・土田 哲

SAA 中山 博司

会長挨拶

会 長 長友範充



今日は夏期家族例会ということで、ここ月光天文台さんに御世話になります。

夏も終わりに近づき、残暑も厳しい季節ですが、今日は夏の夜のひとときを、星空でも眺めて、ゆっくりすごしていただきたいと思います。

ここ月光天文台さんは7月22日にリニューアルオープンされたばかりで、プラネタリウムや天体望遠鏡など施設も充実し、十分楽しんでいただけることと思います。

今月、8月は休会の多い月でしたが、今週末のエンドポリオ募金を皮切りに、9月・10月といろいろな事業が予定されています。会員のみならず、ご家族の皆様方にも、御協力をよろしくお願い致します。

ゲストビジター

- ・大塩 秀樹 氏 (沼津北RC)
- ・市川 真理 様 (米山記念館学芸員)

出席報告

	出席総数	出席率	マークアップ	修正出席率
前々回	17/22 名	77.27%	20/22 名	90.91%
今回	18/22 名	81.82%	会員総数	25 名

・今回の欠席者：小林、浜村、儘田、土田

・前々回のMU者

紀 平 幸 一 (7/22 会員増強維持セミナー)

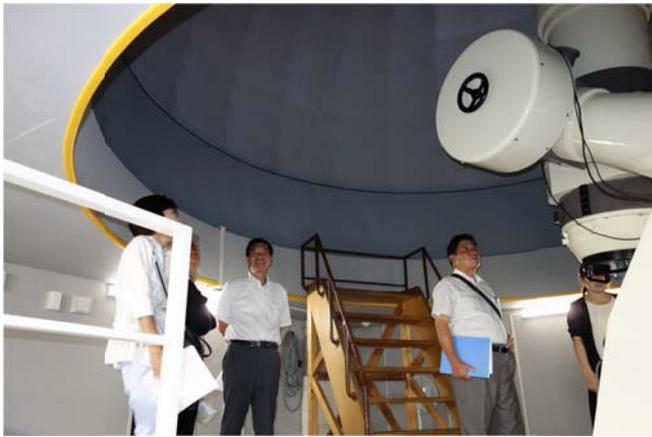
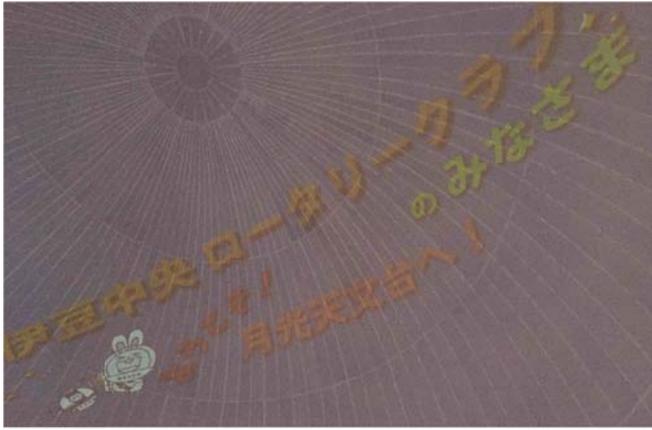
石 井 政 一 (7/25 タイ訪問)

中 山 博 司 (7/25 タイ訪問)

少年野球田方開会式

平成 29 年 8 月 20 日







ロータリー
変化をもたらす

伊豆中央ロータリークラブ ROTARY CLUB OF IZU-CHUO

週報 第2505回例会

2017. 8. 29 (火) 於 サンバレー富士見

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 小野住環境ビル 2F

TEL (055) 976-6351 FAX (055) 976-6352

例会場 ホテルサンバレー富士見 静岡県伊豆の国市古奈 185-1

TEL (055) 947-3100 FAX (055) 947-0564

URL www.izuchuo-rc.org

2017-18

RI 会長 伊藤 H.S. ラズリ ガーナー 松村友吉
会長 長友範充 幹事 土屋雄三
会報委員会 浜村真由美・木内昭夫・水谷隆一・土田 哲

SAA 小野 信 S.L. 大川 公

斉唱 「奉仕の理想」

会長挨拶

会長 長友範充



26日の「ポリオ撲滅募金」猛暑の中、たくさんのご参加ありがとうございました。おかげさまで19056円という募金が集まりました。初回ということで、不慣れな点はありましたが、概ね予定通りに実施できたと思います。

次回第2回は9月24日です。今回出席されなかったメンバーの皆様も、是非出席願いたいと思います。

少し気がついたことは、高校生が参加する意義です。我々メンバーだけでは、今一つ元気もなく、通行人の反応もあまり良くありませんが、高校生が加わると非常に良い感じになります。このようなことから高校生と一緒に事業を行う意味はあると思います。次回も伊豆総合高校との連携で行いますので、よろしくお願いいたします。

また、募金を呼びかけながらポリオに関するチラシを配付したわけですが、このチラシを木内さんから500部寄贈いただきました。心から感謝申し上げます。

今日は増強フォーラムということで、紀平増強委員長にお願いしてあります。

会員増強は、ここ数年来の最重点項目です。増強委員会というものが、もちろんあるわけですが、増強は事業というより、各個人個人で行うものだと認識しています。

会員それぞれが、これはという方を見つけ、そして説得する、ということが増強には一番重要なことではないでしょうか。

10月20日のオープンロータリー例会を一つの期限として、メンバー一人一人が候補者を見つけ、説得していただきたいと思います。よろしくお願い致します。

たいへん厳しい残暑が続いております。お体に留意し、これからの事業への御協力をお願い致します。

ゲストビジター

副会長 古藤田博澄

- ・大塩 秀樹君 (沼津北RC会長)
- ・中田 真君 (沼津柿田川RC)

出席報告

委員長 小林貞博

	出席総数	出席率	マークアップ	修正出席率
前々回	21/25 名	84.00%	24/25 名	96.00%
今回	20/24 名	83.33%	会員総数	25 名

- ・今回の欠席者：小島、浜村、原田、儘田
- ・前々回のMU者：飯田 (鍵) 8/18 (裾野RC)
儘田 8/4 (せせらぎ三島RC)
山口 8/11 (ワールド大阪REC)

慶事発表

- ・飯田 鍵 吾 8月20日 入会記念日
- ・土屋 龍太郎 8月30日 奥様誕生日



・大塩 秀樹 君(沼津北RC会長)

先週の移動例会では大変お世話になりました。

・木内 昭 夫

大塩様ようこそお越しくございました。いつもお世話になっております。

・竹村 淳 一郎

大川さん、先日はお世話になりました。

・山口 和 拓

本日は安全運転管理者協会の法定講習会でした。

皆様、安全運転でお願いいたします。

(本日のスマイル合計: ¥11,700-)

幹事報告

幹事 土屋雄三

先日はお暑い中、エンドポリオ募金へのご参加ありがとうございました。

近隣クラブ・例会・例会会場

- ・せせらぎ三島ロータリークラブ 9/1 (呉竹)
- ・三島ロータリークラブ 9/6 (呉竹)
- ・三島西ロータリークラブ 9/7 (米山記念館)

委員会報告

・クラブ管理運営委員会(古藤田委員長)

8/26 エンドポリオ募金 9/24 エンドポリオ募金、清掃活動

・奉仕プロジェクト米山委員会(雨宮委員長)

9/16 米山記念館例祭

会員増強フォーラム 会員増強委員長 紀平幸一



第2620地区 会員増強・維持セミナー 平成29年7月22日 ダイナミックなクラブを目指して

「動的な」「力強い」「精力的な」「行動的な」

元気なクラブづくりの重要課題

ともに奉仕の理念を信じ、ロータリーの諸活動に積極的に参加する「仲間」を増やすこと。それは会員増強であります。

今、日本のクラブが直面している大きな課題

- ・会員の減少が止まらない。
- ・クラブの活力が失われている。
- ・会員間に意識のギャップがある。
- ・親睦の機会が少ない(または多い)。
- ・ロータリーのことを知らない(関心がない)会員が増加。
- ・奉仕活動がマンネリ化している。
- ・若い会員のニーズに応えられていない。

クラブの活性化

クラブ活性化とは要するに「元気で明るいクラブ」を作ることです。具体的に言い換えれば、クラブ全員が参加して、お互いに協力しながら地域社会や国際社会で必要とされているニーズに応える活動をみんなで、元気よく、明るく、前向きに行っているクラブということです。

クラブでの経験

クラブで充実した時間を過ごしている会員は、おそらく退会を考えることはないでしょう。会員に熱意があれば、周りにもそれが伝わり、クラブ全体の活気が高まります。大切なのは、例会や奉仕活動に参加するだけでなく、会員が仲間との交流を楽しみ、ロータリーへの誇りを抱くことです。

奉仕と親睦

ロータリーに入会する理由、および会員であり続ける主な理由となっているのは、「地域への貢献」と「仲間との親睦」です。

会員がさまざまな方法でクラブに参加できるよう、バラエティーに富んだ親睦行事や奉仕活動を企画し、楽しく、意義ある形で地域に貢献できるようにしましょう。

会員増強

健康的なクラブは、変化しながら発展します。会員の多様な考え方や経験は、革新を促し、地域のニーズを見極める上で欠かせないものです。ロータリーが実施した調査によると、よくある退会理由の一つは「リーダーが新しいアイデアに耳を傾けてくれない」というものであることがわかっています。会員の積極性を高めるためには、クラブに対して会員がどう感じているのかに配慮し、方針や方向性を定める際に会員の声を取り入れることが重要です。

公共イメージ

楽しみながら地域に貢献しているクラブは、誰の目にも魅力的に映るでしょう。地域社会や入会候補者との関係を築く上で、クラブのイメージはとても重要です。奉仕活動を実施する際にはクラブの存在を認知されるようにし、地域に根ざしてニーズに取り組むクラブの活動をアピールしましょう。

ロータリーの未来

「ロータリーがしかるべき運命を切り開くには、常に進化し、時には革命的にならなければなりません。」



伊豆中央ロータリークラブ ROTARY CLUB OF IZU-CHUO

週報 第2506回例会

2017. 9.5 (火) 於 サンバレー富士見

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 小野住環境ビル 2F

TEL (055) 976-6351 FAX (055) 976-6352

例会場 ホテルサンバレー富士見 静岡県伊豆の国市古奈 185-1

TEL (055) 947-3100 FAX (055) 947-0564

URL www.izuchuo-rc.org

2017-18

RI 会長 伊藤 H.S. ラズリ ガーナー 松村友吉
会長 長友範充 幹事 土屋雄三
会報委員会 浜村真由美・木内昭夫・水谷隆一・土田 哲

SAA 原田精治 S.L. 水谷隆一

斉唱 「君が代」「それでこそロータリー」

会長挨拶

会長 長友範充



今年は大変暑い夏でしたが、9月になって急に秋らしくなってきました。

前回の例会は増強フォーラムでしたが、今日も増強についてお願いしたいと思います。

会員増強は数年来の重点項目です。もちろん我々だけではなくほとんどのクラブや地区においても同じだと思います。また会員数の減少はロータリーだけの問題ではありません。他の団体でも多かれ少なかれ同じような問題を抱えているのではないのでしょうか。

会員数の減少は根本的には社会環境や価値観の変化などに起因していると推察されますから、一朝一夕にどうにかする問題ではないことは明らかです。そのため RI も変革をすすめる方向性を打ち出し、各クラブの運営に柔軟性を持たせ、クラブが多様性や地域的な特色を持つことを推奨するようになってきたのだと思います。

長期的にはクラブ自体この地域のニーズに合わせて変化していくこと。この地域での伊豆中央 RC というブランディングを高めることが会員増強に最も重要な事でしょうが、しかしこれには時間がかかります。

もう一つは、日々の増強に対する努力です。毎年、新会員候補者のリストを作成したり、増強フォーラムを行ったりと、いろいろな方法や手法を考えます。もちろんこれらも重要ですが、最終的には個々のメンバーがこれだと思う人を真剣に説得する。根本的にはそれに尽きると思います。

皆さま方も誰か入れなければという気持ちは当然持っておられるでしょうが、普段から集中的に増強を考え、勧誘するということはあまりないのではないのでしょうか。

今回、10月20日のオープン RC までという期限を設け、個々のメンバーが約1ヶ月半、集中的に増強を考えていただければと思います。

ゲストビジター

会長 長友範充

・勝 俣 孝 明 様 (衆議院議員)

出席報告

委員長 小林貞博

	出席総数	出席率	メークアップ	修正出席率
前々回	18/22 名	81.82%	20/22 名	90.91%
今回	21/23 名	91.30%	会員総数	25 名

・今回の欠席者：小野、古藤田

・前々回のMU者：小 林 8/10 (三島西RC)

土 田 8/24 (北海道REC)

慶事発表

・儘 田 和 義 9月9日 会員誕生日

・浜村真由美 8月26日 入会記念日

・儘 田 和 義 9月4日 入会記念日

スマイル報告

親睦友好委員 大川 公

・水谷隆一・大川 公・土屋雄三・土田 哲・原田精治

勝俣さん、本日はようこそお越しくございました。

(本日のスマイル合計：¥26,500-)

エンドポリオ募金 9/24 修善寺駅前

近隣クラブ・例会・例会会場

・三島西ロータリークラブ 9/7 (米山記念館)

・三島ロータリークラブ 9/20 (呉竹:夜間例会)

・せせらぎ三島ロータリークラブ 9/22 (米山記念館)

卓 話

衆議院議員 勝俣孝明 様



国政報告ということになりますが、できるだけ報道等で語られていない部分をお話したいと思います

先日、日本代表がワールドカップ出場を決めました。6大会連続出場を決め、良かったなという思いもありましたが、静岡県といえば昔からサッカーが盛んであり、サッカーが有名で、かつては日本のブラジルと言われたこともありました。

かつては日本代表も静岡県出身の選手がその大半を占めていました時期もありました。沼津にもJリーグのチーム、アスルク沼津が出来ました。静岡県東部初のJリーグチームであります。メインスタジアムは愛鷹競技場で、私も家族と試合を観戦してきました。スポーツというのは大変すばらしい。様々なしなみがある中で、心をひとつにできる。

沼津は何十年も鉄道高架化等の大きな問題を抱えている。選挙の度に賛成なのか反対なのか、ゴタゴタしていますが、沼津という街がスポーツで心がひとつになったなと初めて感じました。是非、東部の皆さんで応援していただきたい。一度スタジアムへ足を運んでいただきたい。

伊豆はひとつと言いながら、なかなかひとつになれない。スポーツを通じて是非、ひとつになってほしい。伊豆地域は東京オリンピック、パラリンピックが開催される地であります。スポーツを通じて伊豆半島をひとつにしましょう。

今、国政で非常に注目されているのは北朝鮮の問題だと思います。ミサイルのことです。ついに日本の上空をかすめました。テレビのインタビューに答えた皆さんが、Jアラートが鳴るが、ミサイルが発射されるときに、どのような行動を取れば良いのか全く分からない。今後の大きな課題になりました。

北朝鮮のミサイル問題は今に始まったことではありません。9年前からミサイル問題は起こっています。当時の北朝鮮のミサイル開発は、技術的にも財政的にもそれほどの脅威ではありませんでしたが、現在は状況が大きく違ってきています。度重なるミサイル発射実験、核実験を経て、今や北朝鮮のミサイル開発は世界中が脅威と感じています。

日本は北朝鮮がミサイルを撃った時にどのように対応するのが問われています。高性能レーダーの配備とか、陸地に装備をして迎え撃つ議論も進んでいます。こうした危機的状況を国民の皆さんも認識しなくていけないと思います。例えば、ミサイルを撃たれたとき小学校はどういう対応をとるのか。私は沼津市教育委員会に問い合わせしてみました。現在のところ何も考えていないとの事でした。自治体単位で考えていけないことであると思います。ミサイルが発射された時には国と地域が連携して対応していく必要があると思います。

少子高齢化・人口減少にどのように対応していくのか。明日、明後日のことではなく10年、20年先、一世代先のことを考えていきたい。40年先にどういう国になっていくのか。何が問題なのか。日本の社会保障が問題だと思っています。

長寿社会、男性平均寿命80才、女性87才です。昨年オプジーボという薬が出ました。肺ガンに効くそうです。これから先3年くらいたったら普通の薬として皆さんが服用できるようになると思います。日本人の一番の死亡原因が解決されつつあるので、当然、平均寿命が延びる事が予想されます。

最新医療の情勢をみると近い将来、平均寿命で100才の時代が来ると思います。

先週、伊豆中央ケアセンターという介護施設で一日職場体験をしました。入浴介助、食事介助をしてきました。介護をされた方はわかると思いますが、本当に大変だなと感じました。これだけ高齢化社会が進むという中で、果たしてこの現場を知っている議員が国会議員をはじめどれだけいるのだろうかと感じました。

「こども保険」という言葉を聞いたことがあると思います。現状ですと100兆円近い予算の中で、社会保障に関する予算は1/3以上占めています。この予算はどこから出ているのか、皆さんからの税収が約55兆、残りは国の借金、国債を発行しています。この国の借金は誰が返すのか、現在の仕組みでは、今生まれてくる赤ちゃんが返すことになります。今の大人たち借金です。今の大人たちが負担するのが当然ではないでしょうか。将来への不安を解消していかないと日本の経済は良くなっていかないと思います。

女性の活躍の社会、一億総活躍という言葉が躍っています。働き方改革、出生率1.8を目標に掲げていますが、二人目をどのように産んで育てていくかが難しく、なかなか達成できていません。社会保障への安心というものをやっていかなくてはいけないと思います。

臨時国会が9月25日からおそらく召集されます。将来をしっかりと見据えた議論を地域の声、介護の現場の声をしっかりと届けていきたい。

介護保険制度、医療国民皆保険制度しっかりと議論を進めていきたいと思っています。



伊豆中央ロータリークラブ ROTARY CLUB OF IZU-CHUO

週報 第2507回例会

2017. 9. 12 (火) 於 サンバレー富士見

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 小野住環境ビル 2F

TEL (055) 976-6351 FAX (055) 976-6352

例会場 ホテルサンバレー富士見 静岡県伊豆の国市古奈 185-1

TEL (055) 947-3100 FAX (055) 947-0564

URL www.izuchuo-rc.org

2017-18

RI 会長 イ.H.S. ラズリ ガーナー 松村友吉

会長 長友範充 幹事 土屋雄三

会報委員会 浜村真由美・木内昭夫・水谷隆一・土田 哲

SAA 小野 信 S.L. 水谷隆一

斉唱 「それでこそロータリー」

会長挨拶

会長 長友範充



今日は例会前に IM 委員会、そして例会後にオープンロータリー実行委員会と、9月に入り当クラブもだんだん忙しくなってきました。今週は米山梅吉記念館秋季例祭、また次週は第2回エンドポリオ募金も予定されております。御協力をよろしくお願い致します。

今年度、当クラブが IM を担当し、また米山梅吉翁についてのことを IM のテーマにするということは、皆様すでにご承知のことと思います。詳細はまだ決まっていないようですが、これから IM を企画・実施していく上で、メンバーの皆様にもぜひ米山梅吉翁についての基本的な知識は持っておいていただきたいと思っております。8月に米山梅吉翁の資料を配付してありますので、是非ご一読をお願い致します。

また米山梅吉記念館については、長らく木内会員を常務理事として輩出し、また水谷会員も事務局次長として、当クラブも深く関わっておりますが、今回、木内会員が常務理事から理事へ、そして水谷会員が事務局次長から事務局長に決まりました。記念館につきましても、皆様方の更なる御協力をお願い致します。

本日の卓話は新会員卓話として土田会員にお願いしてあります。また次回は同じく原田新会員の卓話です。新会員の卓話が2回続く事も久しぶりです。お二人とも入会半年くらいですが、新会員とは思えないほど活躍していただいております。

今回と次回、新会員お二人の卓話をお聞きして、お二人に対する理解を深めたいと思います。

今年度、友好クラブであるトンプリ RC が 60 周年を迎えます。当初、来年の5~6月頃の式典開催と聞き、希望者を募っての参加を予定していましたが、今年の11月4日の開催に決定したようです。11月4日では時間もなく、またクラブの事業も立て込んである時期ですので、中山会員に代表者として参加していただく予定です。もし、参加出来る方がいらっしゃいましたらお願い致します。

また、通例、周年記念事業に協力をしてきており、今回も何らかの形で協力をしたいと考えています。しかしながら予算化をしておりませんので財源がありません。今回理事会にて早船基金を取り崩してこの財源に充てる旨了承をいただきました。しかし、基金取り崩しということですので、ここで会員の皆様方にもご意見をお伺いし、ご了承いただきたいと思っております。

出席報告

委員長 小林貞博

	出席総数	出席率	メークアップ	修正出席率
前々回	20/24 名	83.33%	20/24 名	83.33%
今回	21/22 名	95.45%	会員総数	25 名

・今回の欠席者：徳田

慶事発表

・木内昭夫 9月13日 入会記念日

・木内昭夫

米山梅吉記念館秋季例祭にご参加ください。

・土屋雄三、原田精治

土田君、初卓話頑張ってください。

(本日のスマイル合計: ¥6,000-)

幹事報告

幹事 土屋雄三

9/19 休会

9/16 米山梅吉記念館秋季例祭

9/24 エントポリオ募金 修善寺駅前

委員会報告

クラブ運営委員会 委員長 古藤田博澄

オープンロータリー申込みを次回までに

米山梅吉記念館 木内昭夫

9/16 米山梅吉記念館秋季例祭について

I M実行委員会 総務委員長 中山博司

9/19 第4回 I M実行委員会

卓話

土田 哲



「土地境界と表示登記」

本日は、新会員卓話ということで私の自己紹介を兼ねて、普段私が仕事で携わっている「土地境界」と「表示登記」について説明をさせていただきます。私の名刺には、あまり馴染みのない資格が羅列していますので、まずはそちらを簡単にご説明させていただきます。

<p>株式会社 アルピー企業 Real Estate Planning</p> <p>代表取締役 土田 哲</p> <p>〒410-0221 静岡県伊豆の国市堀内 42-1 TEL 0188-78-7789 FAX 0188-78-7771 E-mail: chiro@alpee.co.jp 業 界 : 090-1279-1071</p>	<p>土地家屋調査士 測量士法に基づく法務大臣免許の国家資格</p> <ol style="list-style-type: none"> 不動産の表示に関する登記について必要な土地又は家屋に関する調査又は測量。 不動産の表示に関する登記の申請手続又はこれに関する審査請求の手続についての代理。 測量法上の手続についての代理。 土地の境界が明確でない場合に、これを原因とする民事に関する紛争に係る民間紛争解決手続代理、(民間紛争解決手続代理(民事案件))
<p>行政書士 行政書士法に基づく法務大臣免許の国家資格</p> <p>1.他人の依頼を受け報酬を得て、官公署に提出する書類その他権利義務又は事実証明に関する書類(実地測量)に基づき図面等を製作し作成することを業とする。 ※他の法律において制限されている事項についてはこの限りではない。</p>	<p>測量士 測量士法に基づく国土地理院長免許の国家資格</p> <ol style="list-style-type: none"> 技術者として基本測量又は公共測量に従事する者測量士又は測量士補でなければならない。 測量士は、測量に関する計画を作成し、又は実施する。 測量士補は、測量士の作成した計画に従い測量に従事する。 <p>基本測量 すべての測量の基礎となる測量で、国土地理院の行うもの、公共測量 基本測量以外で、測量に関する費用の全部もしくは一部を国又は公共団体が負担して行うもの。</p>

<p>地籍調査管理技術者</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般社団法人 日本国土調査測量協会認定の民間資格。 業務成果の技術水準を高め、国土調査の推進に資するとともに業務に携わる技術者の地位向上を目的とする。 測量士または測量士補の有資格者で実務経験が7年以上の者で地籍調査管理技術者試験に合格した者。 	<p>境界の意義</p> <p>①公法上の境界 ある土地とそこに隣接する土地とを区分する公法上の境界をいう。(筆界)</p> <p>②私法上の境界 所有権の範囲を意味する「所有権界」や占有している範囲を意味する「占有界」などがある。</p>
<p>境界の創設</p> <p>我が国における原始境界の形成は、明治初年の近代市民法が確立された時期にさかのぼる。</p> <p>★江戸時代→土地に独立した所有権はなかった。 ☆明治時代→地租改正事業により土地に対する近代的所有権という概念が発生。地券が発行され地引図、字引図が作成される。現在の「公道」の元。筆界=所有権界でスタート</p>	<p>地租改正事業(原始的な筆界の創設)</p> <p>・明治期に入り、各藩の領土の支配権は失われ、国に對して「租税を払う地主」を所有者として、個人所有権が確立。 ・明治4年には社寺領領について地内所有をのぞき土地、田舎、田畑耕作の許可、地所代表官制、地所私法規則が制定され、土地の売買、分割も自由に行えるようになった。(土地の近代的所有権という概念が発生) ・明治5年 地券発行 ・明治6年 地租改正条例により地券発行に際して図面の提出が義務付けられた。(改組図・公法上の境界の創設) ・明治18年 改組図が短期間で作成し不正確のため、地籍調査により再調査、更正図が作成された。これが現在の「公道」の元となっている。</p>
<p>後発的な筆界の創設</p> <ul style="list-style-type: none"> 登記官による筆界の創設 (新たに土地が出来た場合、合筆、分筆) 土地改良、土地区画整理による筆界の創設 判決による筆界の形成 	<p>国土調査法による地籍図</p> <p>昭和26年 国土調査法制定 「日本国土の開発及び保全並びに、土地利用の高度化に資するとともに併せて地籍の明確化を図るため、国土の実態を科学的かつ総合的に調査する。」 平成14年 測量法改正～現在 世界測地系による成果に変更。測量技術の飛躍的進歩により測量精度が明治時代とは比較にならない程大幅に向上。</p>
<p>日本の登記制度</p> <p>第一条 この法律は、不動産の表示及び不動産に関する権利を公示するための登記に関する制度について定めることにより、国民の権利の保全を図り、もつて取引の安全と円滑に資することを目的とする。</p> <p>第二条 第一項 不動産 土地又は建物をいう。</p>	<p>土地家屋調査士の行う表示登記(土地)</p> <ul style="list-style-type: none"> 土地表示・新しく土地が出来た場合 土地滅失・土地が無くなった時 土地目変更・土地の地目が変更された時 土地分筆・土地を分割した時 土地合筆・土地を合併した時 土地積更正・地積が錯誤していた時

日本の土地境界は登記制度と密接な関係になっております。例えば隣接している土地の占有界をお互いの合意のもとで変更した場合は、土地の分筆登記を行い、それぞれ所有権移転登記を行うことにより、法務局に地積測量図という図面が保管され、登記情報の名義が、それぞれ移転したことが公示されます。少し面倒な気もいたしますが、正しい手続きを行い、公示されることにより相続や売買の時に隣境界等でトラブルになることを防止することが出来ます。

土地は皆さんの大切な財産です。ご自身でしっかりと管理をしましょう。「杭を残して悔いを残さず」土地境界や表示登記でお困りの際には、信頼のおける土地家屋調査士へご相談ください。



伊豆中央ロータリークラブ ROTARY CLUB OF IZU-CHUO

週報 第2508 回例会

2017. 9. 26 (火) 於 サンバレー富士見

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 小野住環境ビル 2F

TEL (055) 976-6351 FAX (055) 976-6352

例会場 ホテルサンバレー富士見 静岡県伊豆の国市古奈 185-1

TEL (055) 947-3100 FAX (055) 947-0564

URL www.izuchuo-rc.org

2017-18

RI 会長 伊藤 H.S. ラズリ ガーナー 松村友吉
会長 長友範充 幹事 土屋雄三
会報委員会 浜村真由美・木内昭夫・水谷隆一・土田 哲

SAA 小野 信 S.L. 原田精治

斉唱 「奉仕の理想」

会長挨拶

会長 長友範充

今日は相模原西クラブの皆様がお見えになられております。ようこそおいでくださいました。

後ほどご説明いただきますが、今年度は11月17・18日(金・土)が相模原西クラブとの交流例会となっています。今回は箱根での開催を予定されているということです。是非たくさんの方のメンバーの皆様の参加をお願い致します。

さて、24日の日曜日は第2回ポリオ撲滅募金へのご参加、ありがとうございました。当クラブから10名程、また伊豆総合高校からは約40名の生徒さんたちに参加していただき、修善寺駅では少し過剰とも思われる人数での募金活動でした。これで修善寺駅での2回の募金活動を終わり、残りは、オープンロータリー例会を残すのみとなりました。

当初はどのような募金活動になるか少し心配していましたが、伊豆総合高校生の皆様に非常に熱心に募金を行っていただき、良い募金活動ができたと思います。日頃インターアクト活動については頭を悩ませているわけですが、このような活動は高校生と一緒にやるには非常にわかりやすく、また高校生には参加しやすい活動ではないかと思えます。このあと10月20日のオープンロータリー例会でも、今年度は伊豆総合高校の活動紹介をテーマに行います。是非これらの事業を通して、伊豆総合高校、また高校生たちについての理解を深めていただき、これからのインターアクト活動の役にたてていただきたいと思います。

これからの予定ですが、10月からは京都乙訓交流会、オープンロータリー例会、11月に入りますと地区大会、そして相模原西クラブ交流例会と事業が続きます。少し忙しくなりますが、御協力をよろしくお願い致します。

ゲストビジター

会長エレクト 古藤田博澄

・青塚 淳次 様 (相模原西RC)

・金山 茂樹 様 (相模原西RC)

・唐津 昇 様 (相模原西RC)

・野々山英樹様 (相模原西RC)

友好クラブ委員長 青塚淳次様

本日はお世話になります。本年度の交流例会は箱根での開催を予定しております。皆様のご参加をお待ちしております。よろしくお願いいたします。



出席報告

委員長 小林貞博

	出席総数	出席率	メンバー*	修正出席率
前々回	21/23 名	91.30%	22/23 名	95.65%
今回	20/24 名	83.33%	会員総数	25 名

・今回の欠席者：紀平、浜村、儘田、水谷

・前々回のMU者：古藤田 8/26 (エンドポリオ募金)

慶事発表

・玉置 敏 9月24日 会員誕生日

・石井 政一 9月29日 会員誕生日

・飯田 晃司 9月30日 会員誕生日



・相模原西RC

本日は4名でお伺いいたしました。11月17日の交流例会は是非よろしくお願ひいたします。

・土屋雄三、土田哲、原田精治

原田君、初卓話頑張ってください。

幹事報告

幹事 土屋雄三

10月14日(土)、10月15日(日)京都乙訓RC交流家族例会

卓話

原田精治



「地域密着型建設業の紹介」

本日は、新会員卓話ということで、私の会社の業務内容について紹介をさせていただきます。

サブタイトルで示した「地域密着型建設業」とはなにか。

地域密着建設業＝地域に存在する建設、維持工事をなんでもこなせる建設業と考えます。では建設業とは⇒簡単に言うと、土地に接着する構造物を作る、または壊す作業をする業となるのではないかと思います。法律上の表現では、土木・建築に関する工事を請け負う業、建設業法の規制を受ける業となります。建設業を営んでいく上で、多くの法律の制限、規制等を受けながら、企業として成り立たせております。建設業法をはじめ、最近では、問題が起こる度に、また法律が新設、改正される度に対処しなければいけません。

- ・違法投棄→建設リサイクル法
- ・大地震・構造計算捏造→建築基準法改正
- ・ダンピング受注・担い手確保→公共工事に品質確保の促進に関する法律
- ・談合問題・災害時に道路啓開等にあたる地域建設業者の確保→入札契約適正化法
- ・過労死・労働災害等→労働安全衛生法等
- ・過積載事故→道路交通法等々多岐にわたっております。

一口で建設業と言いましても、その中に、法律上の分類として、29業種あります。これら29業種は許可制になっており、営む業種を選択して監督官庁に申請し、許可を取らなければなりません。弊社では土木工事業・とび土工工事業・鋼工事業・舗装工事業・浚渫工事業・造園工事業・水道施設工事業・(解体工事業)の許可を静岡県よりいただき、営業をしております。

そして、この工事業を営むうえで、建設業法上必要な国家資格があります。1.2級土木施工管理技士、1.2級建築施工管理技士、1.2級建設機械施工管理技士、1.2級造園施工管理技士、1.2級管工事施工管理技士、(1.2級舗装施工管理技士)、経理面では、建設業経理士1.2級等々あります

また、労働安全衛生法上では、・クレーン免許等の免許、重機の運転等の技能講習、小型重機運転等の特別教育があります。他にも環境保全増進法、宅建業法、職能促進法、雇用改善法、暴追法、都市計画法、廃棄物処理法、消防法、電波法と多岐に渡り法律の制約を受け、能力にもよりますが、全社員になるべく資格を取得させ、オールマイティな人材の教育をしていなくては地域密着(なんでもこなせる業)型の建設業はうまく成り立ちません。

弊社の営業種目としまして土木一式工事(道路新設、道路改良、橋梁、林道、遊歩道、河川工事、農地、砂防、道路防災、)造園工事、舗装工事、解体工事、各種施設工事、維持管理業務(道路管理、除草、除雪、耐震補強)災害対応(大雨、強風、地震)です。特に災害対応については、いつなん時に発生するかわからないので、常に準備を怠らないよう気を配っております。

もちろん、企業体を維持できるだけの工事量が無いと気を配るにも配れない事態になるので、各種方面にアンテナを張っておけるよう、様々な活動に積極的に参加し、地域経済においても地域貢献活動を通して地域活性化の一翼を担えればと考えております。

最後に、「社会インフラに貢献しつつ、地域に安全・安心を提供する」をモットーに精進してまいります。

エンドポリオ募金 平成29年9月24日 修善寺駅





伊豆中央ロータリークラブ ROTARY CLUB OF IZU-CHUO

週報 第2509回例会

2017. 10. 3 (火) 於 サンバレー富士見

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 小野住環境ビル 2F

TEL (055) 976-6351 FAX (055) 976-6352

例会場 ホテルサンバレー富士見 静岡県伊豆の国市古奈 185-1

TEL (055) 947-3100 FAX (055) 947-0564

URL www.izuchuo-rc.org

2017-18

RI 会長 伊藤 H.S. ラズリ ガバナー 松村友吉
会長 長友範充 幹事 土屋雄三
会報委員会 浜村真由美・木内昭夫・水谷隆一・土田 哲

SAA 原田精治 S.L. 水谷隆一

斉唱 「君が代」「それでこそロータリー」

会長挨拶

会長 長友範充

10月に入りました。今年もあと3ヶ月、そしてロータリーの今年度は1/4終わったということになります。

先日、第1グループ第2回会長幹事会が開催されました。後日土屋ガバナー補佐から詳しいお話があると思いますが、少し報告させていただきます。

ご存じのように、次年度より分区が再編されます。現在2620地区は11分区で構成されていますが、これが8グループに再編されます。そしてこの地域は、第1分区の伊東・下田・熱海南・伊東西・網代多賀の5クラブと、第2分区の三島・三島西・せせらぎ三島、そして伊豆中央の4クラブが一緒になって静岡第1グループとなります。会員数で288名のグループです。

次年度から、新しい分区編成が適用となりますので、第1グループとしての運営方法、IM、そしてどの順番でグループを担当し、ガバナー補佐を輩出するかなど決めなければなりません。時間があまりないということで、土屋ガバナー補佐も大変ご苦労されたことと伺います。このたび、次年度は三島が第1グループを担当し、ガバナー補佐を輩出することに決まりました。

今までの分区は分区の事業らしい事業と言えばIMくらいでした。しかし、これから各クラブの人数も減少傾向にあり、また地域的にも第1グループ、イコール伊豆地域となったことで、この分区再編を機会に分区というものの在り方、IM、また分区での連携した事業など、分区を活用出来るような方向性、また補佐や担当するクラブの負担を軽減するような運営方法を考える良い機会ではないかと思えます。是非この機会に負担の少なく、また役に立つ分区運営というものを考えていただきたいと思います。

ゲストビジター

会長エレクト 古藤田博澄

・あわやのぶこ様 (知半アートプロジェクト)

出席報告

委員長 小林貞博

	出席総数	出席率	メークアップ	修正出席率
前々回	21/22 名	95.45%	21/22 名	95.45%
今回	18/23 名	78.26%	会員総数	25 名

・今回の欠席者：大川、小野、紀平、浜村、儘田

慶事発表

- ・木内昭夫 10月4日 会員誕生日
古希より4年が経ちました。これからもよろしく願いいたします。
- ・中山博司 10月10日 奥様誕生日
- ・竹村淳一郎 10月15日 奥様誕生日
- ・木内昭夫 10月5日 結婚記念日
- ・竹村淳一郎 10月6日 結婚記念日
- ・中山博司 10月10日 結婚記念日



スマイル報告

親睦友好委員 土田 哲

- ・水谷隆一
米山梅吉記念館事務局長になってしまいました。何かの間違いなのですが、よろしく願いいたします。
- ・土屋龍太郎、土田哲
ネクタイを忘れてしまいました。
(本日のスマイル合計：¥6,000-)



私とロータリークラブとは、1970年代半ばに奨学金をいただき、アメリカに留学させていただいたのが御縁の始まりです。

私は、先ほどご紹介にあったように伊豆の国市吉田の旧下田街道沿いの家にお産婆さんによって産まれましたので旧石器人といってもいいと思います。今の子供たちはみんな病院で産まれますから。この家の一人孫として産まれて、父の転勤で、東京や広島に行ったり、挙句の果てに大学の時にはアメリカに行ったり、ジャーナリストとしてアメリカに取材に行ったりしていました。そして今、自分の故郷に戻ってきたという感じがしています。

この家は今年で209年、江戸時代後期の文化5年にできた家です。国の有形登録文化財になっています。私がこの家を引き受けることになったときに、直感的に教育文化に使おうと思いました。私が育った家で色んな人の出入りがあり、芸術家や和尚さん、作家さんであるとか。色んな方々が運んできた文化の香りというものもあるし、伊豆の経済が貧しく、曾祖父の菅沼莊治が村長になった時には、緊縮政策をしても未来は無いと寺子屋の女子教育をやったようです。教育や文化に力を入れないといけないと奔走したようです。田中村の感謝状の中にいろいろ書いてありました。

2007年にアートプロジェクトを始動させました。行政の支援があるわけではなく、何ができるかわからない中で始めました。プロジェクトを始めるときに二つの指針を立てました。一つは「文化交差」。江戸時代の家だから尺八のコンサートをする。というのではなく、過去と未来、伊豆と東京、日本と外国、異なったものの交差できるもの。もう一つは、ここでしかやれないものをやる。自分の田舎でプロジェクトをやる。ピカソの絵をもってくるとか、有名人を呼ぶとかはしない。ここでしかやれないことをやりたい。

正式名称は旧菅沼家住宅「知半庵」。明治生まれの当主：菅沼謹吾は、「菅沼知半」の雅号で句を読み、絵を描き、多くの文化人と交流しました。「知半」とは、「半ば」を「知る」という意味で、謹吾自らが作った言葉です。

彼は、人間は、時に極端に走りもするが、結局のところ、何事にも「良いところあり」を知ることが、人生の幸せだと考え、その「半ばを知る」を意味する「知半」を雅号としたようです。

第8回目となる写真展をやります。今回は「記憶のかけら」という名前の写真展をやります。室内では震災の写真、屋外では石の写真というのをやります。

震災の写真展というと、大きな波に飲み込まれている写真を思い出されるかもしれませんが、全く異なっていて、物の記憶、東日本大震災で残された「モノ」を取り続けている六田知弘（むだ ともひろ）さんという著名な写真家です。

彼の写真を室内で展示します。震災があったときから、自分で何ができるのだろうと考えていて、ボランティアに行ったり、お悔やみの手紙を書いたり、プロジェクトとして何ができるだろうと。今回、震災の記憶を室内でやって、外は日常のものの記憶ということをやろうと考えました。

震災のあとに写真家六田知弘さんが現地へ赴いて、波打ち際に捨てられたもの。生活の道具とか色々な「モノ」が落ちてこちている。それを自分の画用紙の上にモノを置いて写真を撮り始めた。おもちゃの写真、アクセサリの写真、使い込んだ歯ブラシの写真、気仙沼のトイレの近くに干涸びて打ち捨てられた本の写真など。この本は、たぶんコンピューター関係の本の写真です。発想的に言うと知半庵江戸時代の記憶の家、箱の中に「モノ」の記憶を入れてあげればいいのか。六田さんのカメラの中にしか残っていない震災の遺品を。展示の仕方ですが、日本家屋の中で上から「モノ」をのぞくとか、座って水平に作品を見ようということを考えました。ここでしかできないものをやりたい。わかりにくい写真ですけど、白い壁に夕日が当たっていて、こっちから木の陰があって、上がうっすらと空があって、上が青い、白い壁に夕日が当たっている。そのむこうに放射能汚染物質がダークと置いてある。袋に詰められて、福島に行ったらよく見かける田んぼの端に置いてある。

美しい写真の中に怖さがある、放射能汚染の部屋。一つの部屋の中で写真を使って表現しています。今までの写真が非日常の写真なんですね。私たちは福島で起こったのは衝撃的だけど、時間が経つにつれて忘れる。なぜなら遠いから。

私は、祖父から狩野川台風のことを聞いている。熊坂で被害者がたくさん出ていたが、旧下田海道のうちのところが被害もなく、いかに平常だったか。平常を保っている場所から叫び声を聞く。平常と非平常。もっとユニバーサルな記憶にするためにこういう展示にして日常をアウトドアでやりたいと考えました。六田知弘さんに未発表の石の写真があるので、これはどうですかと勧められました。石は日常の中にひっそりとそこにいる。イギリスで撮った写真です。うちの竹やぶのところに立てかけたり吊ったりして展示します。

非日常の「モノの記憶」と日常に棲む「イシの記憶」。日常と非日常の間で記憶を問う設置アートを11月3日から12月2日まで行います。11月18日は、六田知弘・玄侑宗久氏のトークショーも行います。是非お立ち寄りください。



本多 庸一



ロータリー 変化をもたらす

伊豆中央ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF IZU-CHUO

週報 第 2510 回例会

2017. 10. 14 (土) 於 サンバレー富士見

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 小野住環境ビル 2F

TEL (055) 976-6351 FAX (055) 976-6352

例会場 ホテルサンバレー富士見 静岡県伊豆の国市古奈 185-1

TEL (055) 947-3100 FAX (055) 947-0564

URL www.izuchuo-rc.org

2017-18

RI 会長 伊ノH.S. ライター ガバナー 松村友吉
会長 長友範充 幹事 土屋雄三
会報委員会 浜村真由美・木内昭夫・水谷隆一・土田 哲

SAA 中山 博司

会長挨拶

会長 長友範充



こんばんは。京都乙訓ロータリークラブの皆様お久しぶりです。いつもお世話になっております。

今年度会長を務めさせていただいております長友範充です。よろしくお願ひ致します。

今日は、伊豆長岡へようこそいらっしゃいました。昨年は貴クラブにお邪魔させていただき、大変御世話になりました。

京都乙訓ロータリークラブと伊豆中央ロータリークラブが友好クラブを締結したのが 1986 年（昭和 61 年）11 月、当時は伊豆中央ロータリークラブではなく伊豆長岡ロータリークラブでした。1986 年ですから、それから 31 年経つわけです。31 年間大変長いお付き合いだと思います。そして、私がロータリークラブに入会したのは、1997 年、平成 9 年 8 月ですので、そこからもう 20 年過ぎました。そのためか、2 回目の会長を務めさせていただいております。

前回の会長の時には、京都乙訓ロータリークラブに伺わせていただき、東寺等を案内していただいた記憶があります。そのときも雨でした。しかし途中

今回、明日の観光は富士山や忍野八海などを計画しております。天気が良ければ素晴らしいのですが、今日・明日も雨のようです。雨男である私が会長だったということで、今回の観光は運が悪かったと諦めてください。

今日、明日と、天候以外にもいたらぬ点多々あるとは思いますが、そこはロータリーの友情に免じてお許しいただき、この 2 日間よろしくお付き合いをお願いしたいと思います。

京都乙訓ロータリークラブの皆様とも本当に長いお付き合いです。この友好関係が末永く続く事をお願いしますとともに、皆様方のますますのご健勝を祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。

出席報告

	出席総数	出席率	メンバー	修正出席率
前々回	20/24 名	83.33%	22/24 名	91.67%
今回	16/25 名	64.00%	会員総数	25 名

- ・今回の欠席者：雨宮、大川、紀平、小林、土田、土屋雄三、土屋龍太郎、原田、儘田
- ・前々回のMU者
紀平 幸一 (9/7 三島西RC)
水谷 隆一 (9/16 米山梅吉記念館秋季例祭)







伊豆中央ロータリークラブ ROTARY CLUB OF IZU-CHUO

週報 第2511回例会

2017.10.17 (火) 於 サンバレー富士見

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 小野住環境ビル 2F

TEL (055) 976-6351 FAX (055) 976-6352

例会場 ホテルサンバレー富士見 静岡県伊豆の国市古奈 185-1

TEL (055) 947-3100 FAX (055) 947-0564

URL www.izuchuo-rc.org

2017-18

RI 会長 イ.H.S. ラズリ ガーナー 松村友吉
会長 長友範充 幹事 土屋雄三
会報委員会 浜村真由美・木内昭夫・水谷隆一・土田 哲

SAA 小野 信 S.L. 水谷隆一

斉唱 「それでこそロータリー」

会長挨拶

会長 長友範充



14日、15日は京都乙訓ロータリークラブ、伊豆中央ロータリークラブ交流例会そして観光と、荒天にもかかわらずご参加いただき、ありがとうございました。たくさんのメンバーにご出席いただき、懇親会、二次会ともなかなか盛り上がり、有意義な交流が出来たと思います。

15日の観光は当初、富士山、忍野八海を予定しておりましたが、雨ということで、予定を変更し、土屋幹事・石井さんに頑張ってもらい、何とか乗り切ることができました。ありがとうございました。

当クラブとの友好クラブは3つあります。タイのトンブリロータリークラブ、相模原西ロータリークラブこの2クラブは姉妹クラブ、そして今回の京都乙訓ロータリークラブ（友好）です。中でも京都乙訓ロータリークラブと伊豆中央ロータリークラブは31年という長い友好関係があります。

メンバーの変遷により以前ほどの親密さはなくなつたような気がしますが、それでも当クラブにとっては一番の友好クラブではないかと思ひます。

来年はこちらが伺う番ですので、たくさんのメンバーの皆様のご参加をお願いしたいと思います。

さて、今週は20日の金曜日がオープンロータリー例会です。今年度の財団補助金事業であり、また増強にも関わっている事業です。今のところ、参加者が昨年に比べてやや少ないようです。まだ間に合いますので是非お知り合いの方に声をかけていただければと思います。よろしくお願ひ致します。

出席報告

副委員長 飯田晃司

	出席総数	出席率	メンバー	修正出席率
前々回	18/23 名	78.26%	19/23 名	82.61%
今回	19/23 名	82.61%	会員総数	25 名

- ・今回の欠席者：小林、竹村、原田、儘田
- ・前々回のMU者：紀平 10/12 (三島西RC)

慶事発表

- ・小島 昭男 10月18日 会員誕生日
ありがとうございます。65才になりました。これからもがんばります。
- ・大川 公 10月25日 会員誕生日
ありがとうございます。69才になりました。若々しい気持ちで様々なことにチャレンジしていきたいと思ひます。
- ・古藤田博澄 10月19日 結婚記念日
- ・飯田 健吾 11月2日 結婚記念日
- ・飯田 晃司 11月3日 結婚記念日
- ・長友 範充 11月3日 結婚記念日



・山口和拓

京都乙訓RC合同例会、親睦委員の皆様お疲れ様でした。10月20日のオープン例会がんばりましょう。

・小島昭男

京都乙訓RC合同例会お疲れ様でした。
(本日のスマイル合計: ¥20,000-)

幹事報告

幹事 土屋雄三

10月24日(火)、31日(火) 休会

10月31日(火) パスト会長会議

11月7日(火) 例会:卓話担当土屋ガバナー補佐に変更

11月11日(土)、12日(日) 地区大会:焼津グランドホテル、焼津文化会館

11月14日(火) 例会:地区大会報告

11月17日(金)、18日(土) 相模原西RC合同例会および
交流会:箱根ハイランドホテル、箱根カントリークラブ

卓話

オープンロータリー例会準備・IM進捗状況



2017 オープンロータリー例会 副会長 古藤田博澄

第一部 オープン例会

- ・司会: SAA 小野 信
- ・開会点鐘: 会長 長友範充
- ・ロータリーソング: 「奉仕の理想」
ソングリーダー: 水谷隆一
- ・会長あいさつ: 会長 長友範充
- ・伊豆総合高校プレゼン紹介: 副会長 古藤田博澄
- ・伊豆総合高校あいさつ: 有馬校長先生
- ・生徒会発表: 伊豆総合高校生徒会生徒
- ・郷土芸能部太鼓演奏: 伊豆総合高校郷土芸能部生徒
- ・伊豆総合高校の応援団を代表して: 伊豆市市長 菊地 豊 様
- ・まとめのあいさつ: 研修リーダー 土屋龍太郎
- ・閉会点鐘: 会長 長友範充

第二部 懇親会

- ・司会: 水谷隆一
- ・あいさつ: 会員増強委員長 紀平幸一
- ・乾杯: 伊豆の国市長 小野登志子 様
- ・中締め: 幹事 土屋雄三

現在のところ、メンバーを含めて 45 名が参加予定となっております。

メンバーの集合時間は、17:15 集合でお願いいたします。

受付は親睦友好委員会のメンバーを中心をお願いいたします。当日は受付で配布物と会費の徴収、参加者への名札のお渡しをお願いいたします。

会場の準備は手の空いているメンバー全員でお願いいたします。

伊豆総合高校の生徒会によるプレゼンおよび郷土芸能部の太鼓の準備は、伊豆総合高校の生徒たちが行います。

受付時、休憩のときには積極的にポリオ募金への呼びかけをお願いいたします。

開場は 18:15 を予定しておりますが、参加者の状況を見て判断いたします。

第一部終了後、懇親会会場への会場設営作業に移ります。この間は参加者はロビーで休憩となります。1階で伊豆総合高校の写真部の展示を行っていますので参加者へ案内等をお願いいたします。

また、椅子等の片付けやテーブルの配置などをホテル側と協力して行いたいと思いますのでお手伝いをお願いいたします。

IM進捗状況報告

IM実行委員長 飯田鍵吾

開催日時: 2018年2月17(土) 14:00

会場: 東レ総合研修センター

- 第一部: 全体会議
- 第二部: 記念公演
- 第三部: 懇親会

第二部の記念公演は米山梅吉翁について講演予定。

第三部の懇親会では、いわゆる出し物的なものは予定していません。

今後詳細については各担当委員会で詰めていただきたくよろしくお願いいたします。

来賓祝辞は、伊豆市長 菊地 豊 様および伊豆の国市長 小野登志子 様を予定しています。

伊豆中央ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF IZU-CHUO

週報 第 2512 回例会

2017. 10. 20 (金) 於 サンバレー富士見

事務所 静岡県三島市中央町 4 番 9 号 小野住環境ビル 2F

TEL (055) 976-6351 FAX (055) 976-6352

例会場 ホテルサンバレー富士見 静岡県伊豆の国市古奈 185-1

TEL (055) 947-3100 FAX (055) 947-0564

URL www.izuchuo-rc.org



2017-18

RI 会長 イン.H.S. ライター ガバナー 松村友吉
 会長 長友範充 幹事 土屋雄三
 会報委員会 浜村真由美・木内昭夫・水谷隆一・土田 哲

SAA 小野 信 S.L. 水谷隆一

斉唱 「奉仕の理想」

会長挨拶

会長 長友範充

今日はお忙しい中、オープンロータリーにご参加いただき、ありがとうございます。また日頃は、我々伊豆中央ロータリークラブの活動にご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。

我々が地域の皆様にロータリークラブというものの知っていただく、また地域で活躍されている皆様方の交流の場を持つと考え、始めましたオープンロータリーも、今回で3回目を迎えます。

2年前の初回は地域で活躍されている皆様との交流の機会として開催致しました。また、昨年度はこれに加えて土屋副知事を講師としてお招きし、「伊豆半島地域の創成に向けて」と題したご講演もいただきました。3回目の今回は少し趣向を変え、当地域伊豆市に所在する伊豆総合高校にスポットライトを充てたいと思います。

ご存じのように 2010 年に大仁高校と修善寺工業高校が統合した伊豆総合高校は、県立高校の中でも工業科と総合学科が併設され、また多彩な部活動、地域貢献・地域連携活動等を積極的に推進している高校です。また我々伊豆中央ロータリークラブが、6年前にインターアクトクラブを立ち上げた高校でもあります。

我々伊豆中央ロータリークラブも、一昨年の修善寺虹の郷での「イズフォトフレーム」設置、昨年の狩野川公園での「イズサイクルボード」設置、また今年はポリオ撲滅募金と、いろいろな事業を伊豆総合高校生と共に行っています。

今日は伊豆総合高校が行っている様々な地域貢献活動を地域の皆様にご紹介したいと思います。

我々の地元の伊豆総合高校が、どのように地域と

関わり活動しているのか、さらに、その活動を通して生徒達が学校の授業では体験・経験できない貴重な「学びの場」を得ているかを紹介することで、伊豆総合高校がどれほど地域の役に立っているのか、また有能な生徒達が在学しているのかを広く地域の皆様にご理解いただき、地元の皆様方からの応援・支援につながることを大いに期待しております。

このあと伊豆総合高校生の皆様に「伊豆総合高校と地域とのつながり」という題でプレゼンをしていただき、そのあと皆様よくご存じの、郷土芸能部による太鼓の演奏をお願いしてあります。

また、もうご覧になられた方もいらっしゃると思いますが、1階では写真部の写真展「修善寺の街と人」も開催しております。懇親会までの休憩時間にでも是非ご覧ください。

それでは、われわれの地元の伊豆総合高校がさらにこの地域に根ざした、またこの地域を支える人材を育て得る高校になり、地域の皆様から大きな応援・支援を頂けることをお願いし、また合わせて、我々伊豆中央ロータリークラブへのご理解・ご協力をお願いして、ご挨拶とさせていただきます。

出席報告

	出席総数	出席率	メンバーアップ	修正出席率
前々回	16/25 名	64.00%	21/25 名	84.00%
今回	19/23 名	82.61%	会員総数	25 名

・今回の欠席者：小林、浜村、原田、儘田

・前々回のMU者

雨宮演邦 (9/7：三島 RC) 土屋雄三 (9/29：会長幹事会)

紀平幸一 (10/18：三島 RC) 土屋龍太郎 (9/29：会長幹事会)

土田 哲 (10/21：北海道 E クラブ)

第一部：オープンロータリークラブ例会



伊豆総合高校 有馬校長先生



郷土芸能部による太鼓演奏



生徒会による伊豆総合高校の紹介



伊豆市長 菊地 豊 様



第二部：懇親会



伊豆の国市長 小野登志子 様



中締め 土屋幹事



伊豆中央ロータリークラブ ROTARY CLUB OF IZU-CHUO

週報 第 2513 回例会

2017. 11. 7 (火) 於 サンバレー富士見

事務所 静岡県三島市中央町 4 番 9 号 小野住環境ビル 2F

TEL (055) 976-6351 FAX (055) 976-6352

例会場 ホテルサンバレー富士見 静岡県伊豆の国市古奈 185-1

TEL (055) 947-3100 FAX (055) 947-0564

URL www.izuchuo-rc.org

2017-18

RI 会長 イノ H.S. ラズリ ガーナー 松村友吉

会長 長友範充 幹事 土屋雄三

会報委員会 浜村真由美・木内昭夫・水谷隆一・土田 哲

SAA 小野 信 S.L. 原田精治

斉唱 「君が代」「それでこそロータリー」

会長挨拶

会長 長友範充



20日のオープンRC例会以来18日ぶりの例会となります。先月はかなりタイトなスケジュールで、乙訓交流・オープンロータリーと事業が続きました。御協力ありがとうございました。今月も地区大会、そして相模原西 RC 交流と事業がありますので、よろしくお祈りします。

今月の4日(土)は姉妹クラブであるタイトンブリ RC の60周年がおこなわれました。本来なら私を始め何名かのメンバーで伺わなければならない訳ですが、当初の予定と違って60周年記念式典が11月になったと言うこともあり、中山さんに当クラブを代表して出席していただきました。

ご存じのように当クラブには3つの友好または姉妹クラブがあります。先月は乙訓との交流会がありましたし、今月は相模原西との交流会が予定されています。実際のところこちらに来られる場合はいいのですが、行く場合にはかなり出席率が悪いのが現状です。

また今回のトンブリにしても交流の歴史は長く、以前は多くのメンバーで行き来しておりました。しかしここ数年は特定の3~4名程度での交流となっており、今後の発展性も期待出来ないと思います。現状これら友好クラブとの交流は、われわれにとっては、かなりの負担になっているのではないかと感じています。

そのような理由で前回の理事会、また今回31日のパスト会長会議において、トンブリとの姉妹関係、また早船基金についてご意見をいただきました。その中で大多数の方々が、トンブリとの姉妹関係は今後継続していくことは無理であろうという意見になりました。

今回、友好クラブを締結されたメンバーの方々、また相手クラブにもたいへん申し訳ないと思いますが、今年度をもってトンブリとの友好関係を解消し早船基金も整理しようと思います。

これもクラブの効率化・簡素化の一つとして、是非ご了承願いたいと思います。また国内の京都乙訓 RC・相模原西 RC につきましては、年に一度の交流ですので、是非たくさんのメンバーの参加をお願いしたいと思います。

最後に、11月ということで、そろそろ次年度の話が出てくる時期になってまいりました。今年度は12月11日の年次総会において次年度理事役員を選出発表するわけですが、本日はその1ヶ月前ということで、次年度の理事役員の指名を会員の皆様から求める、次年度理事役員選出要請をさせていただきます。

このまま1週間以内に会員の皆様から候補者の指名がない場合は、次回例会において指名委員会を設置し、指名委員会により選考し、その発表をもって当選したものとし、承認願うこととなります。よろしくお願い致します。

出席報告

副委員長 飯田晃司

	出席総数	出席率	メークアップ	修正出席率
前々回	19/23 名	82.61%	20/23 名	86.96%
今回	18/23 名	78.26%	会員総数	25 名

- ・今回の欠席者：紀平、小島、小林、中山、水谷
- ・前々回のMU者：竹村 (10/19 三島西RC)

・雨宮演邦、玉置 敏、原田精治

米山委員会お疲れ様でした。木内さん、水谷さんありがとうございました。

(本日のスマイル合計: ¥3,000-)

幹事報告

幹事 土屋雄三

・11月11日(土)、12日(日) 地区大会: 焼津グランドホテル

・11月14日(火) 例会: 地区大会報告

・11月17日(金)、18日(土) 相模原西RC合同例会及び交流会:
箱根ハイランドホテル

委員会報告

インターアクト委員長 竹村淳一郎



10月29日に藤枝順心高校においてインターアクト指導者講習会が開催され、伊豆総合高校の名倉先生と参加をいたしました。

藤枝順心高校のインターアクトクラブ部員のもとで例会が行われました。続いてNPO法人藤枝光文庫: 石神利之理事長による、視覚障害者における読書環境をテーマにした公演がありました。ご本人も視覚障害者ですが、視覚障害者福祉の向上を図ろうと藤枝光文庫を開設し、点訳者、音訳者の養成と図書作製事業を展開しているそうです。図書作製は、完璧なものを作製しなければならぬため、計画性を持った確かなボランティアが要求されるそうです。講演のあとの交流会では、生徒たちがグループごとに点字体験を行いました。

再来年は、伊豆総合高校が地区インターアクト指導者講習会担当校となります。当クラブの事業計画に入れておくようによりしくお願いいたします。

卓話

ガバナー補佐 土屋龍太郎



分区再編とクラブの活性化

分区再編計画

➤ クラブ活性化を実現するためのプロセス

→ 地区戦略計画拡大会議

再編成の時期はできるだけ早く実現し、クラブの活性化を目指していきたい。

・ガバナー補佐の役割の再検討

・多様な活動資金の再検討

➤ 会議後、エレクト事務所宛に意見具申

ロータリーにとって、地域のニーズは大切な要素です。分区の意義を説明するに、「地域のニーズを共有するクラブの集まり」は、如何でしょうか。

ロータリーの活動に理解を求める際に、組織の説明は重要な要素です。今回の分区再編は、ロータリーの地域戦略の一つです。

新第1グループ会長幹事会

・第1グループ運営規約

・世話クラブの輪番制

・IM、会長幹事会及び合同例会

以上の論点をクラブに持ち帰り、議論を深めてほしい。今がチャンス。今しかない。

今回の分区再編を契機に、地域のニーズを共有する9つのクラブが一体となって、地域社会の課題克服に向けた活動に取り組む体制を構築したいと考えます。

個々のクラブでは対応が難しい、あるいは一体となった行動が求められるケースへの対応として、新第1グループが連絡調整機能を発揮する等を通じて、所属クラブの活性化に貢献し、地域の課題克服に挑戦するロータリークラブを標榜します。

ロータリークラブの奉仕活動

RIの長期計画では、人道的奉仕の重点化と公共イメージの向上を優先事項に掲げ、クラブは、それぞれの規模や会員の技能、奉仕する地域社会のニーズに応じて、独自の計画を立てることができるとしています。

ロータリー財団の未来の夢計画では、先進国日本の地方が抱える課題(人口減少・少子高齢社会や地方社会の疲弊、更には児童の貧困率改善)への対応がイメージしにくい状況にあります。

長期計画 29

・会員基盤の維持増強; 会員増強と公共イメージ向上

→ I S u r v e

・奉仕プロジェクト; 青少年育成と米山記念館支援

・ロータリー財団支援; 財政支援とプログラムへの参加

・指導者育成; 地区・グループにおける指導者



ロータリー
変化をもたらす

伊豆中央ロータリークラブ ROTARY CLUB OF IZU-CHUO

週報 第2514回例会

2017. 11. 14 (火) 於 サンバレー富士見

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 小野住環境ビル 2F

TEL (055) 976-6351 FAX (055) 976-6352

例会場 ホテルサンバレー富士見 静岡県伊豆の国市古奈 185-1

TEL (055) 947-3100 FAX (055) 947-0564

URL www.izuchuo-rc.org

2017-18

RI 会長 イアン・ライズリー ガーシー 松村友吉
会長 長友範充 幹事 土屋雄三
報委員会 浜村真由美・木内昭夫・水谷隆一・土田 哲

SAA 小野 信 S.L. 原田精治

斉唱 「我等の生業」

会長挨拶

会長 長友範充

11月11、12日は、焼津にて地区大会が開催されました。出席された皆様、大変お疲れさまでした。

今週は、17、18日に相模原西 RC との交流会が予定されております。相模原西 RC との交流は通常は4月ごろに行っていますが、今年度は先方の都合で、11月ということになりました。先月、今月と秋に2回の友好クラブとの交流があるというのは、やはり少し負担が大きい気がします。

トンプリ RC につきましては、前回の例会でお伝えしたとおり、姉妹クラブ関係を見直す方針ですが、京都乙訓 RC や相模原西 RC との交流も、見直す時期に来ているかもしれません。どちらも年1回の懇親会と観光がメインの交流ですが、もう少し他の方法も模索する必要があると思います。

さて、本日、イアン・ライズリー RI 会長からメッセージが届いておりましたので、ご覧になられた方もいらっしゃると思いますが、11月はロータリー財団月間です。

財団と言えば、年次寄付、財団補助金事業、また財団の最重要事業であるポリオ撲滅がありますが、年次寄付につきましては、前年度において年次基金・恒久基金・ポリオプラス基金、合計で3億400万ドルが財団に寄せられたということです。

また補助金に関しては、494件の地区補助金、1260件のグローバル補助金、合計1億1100万ドルを承認したということです。

ポリオ撲滅に関しましては、今年度は世界ポリオデーに合わせた大規模な募金、イベントが行われました。当クラブも3回のポリオ撲滅募金を行い、十分に貢献したと思います。

2016年に野生型ポリオで麻痺になった子供は37人でしたが、2017年現時点では13名にとどまっているとのこと、ほんとうにあと1歩で終焉に近づいているようです。今後も協力していきたいと思います。

ところで、11月6日の例会におきまして、次期役員の内候補及び指名を要請しておりましたが、一週間の間に指名があ

りませんでした。従って、細則第3条、および内部規定第2条により指名委員会を設置し、新理事を選任いたします。指名委員としては本年度理事8名に加え、3年を経過したパスト会長として土屋龍太郎パスト会長および飯田健吾パスト会長にこれをお願い致します。指名委員会において協議した次年度理事を12月12日の年次総会にて発表・決定いたしますので、よろしく願いいたします。

出席報告

副委員長 飯田晃司

	出席総数	出席率	マークアップ	修正出席率
前々回	19/23 名	82.61%	19/23 名	82.61%
今回	20/24 名	83.33%	会員総数	25 名

・今回の欠席者：木内、小林、浜村、儘田

スマイル報告

親睦友好委員 大川 公

・原田精治：地区大会参加ご苦労様でした。参加できずに申し訳ございませんでした。

(本日のスマイル合計：¥16,000-)

慶事発表

- ・土屋 源 由 11月 8日 入会記念日
- ・山口 和 弘 11月 25日 入会記念日
- ・玉 置 敏 11月 26日 奥様誕生日
- ・水 谷 隆 一 11月 10日 結婚記念日
- ・小 島 昭 男 11月 23日 結婚記念日



幹事報告

幹事 土屋雄三

- ・11月17日(金)、18日(土) 相模原西RC合同例会及び交流会：箱根ハイランドホテル
- ・11月21日(火) 休会

委員会報告 タイ・トンプリ RC 訪問報告 中山博司

11月4日にタイ・トンプリRC訪問。補助金を渡してきました。我々の補助金は人工透析器の購入に充てられるとの事でした。



会長 長友 範 充

今年度の地区大会は11月の11日（土）・12日（日）に焼津にて行われました。今回の地区大会のテーマは「未来のロータリーを考える」です。

松村ガバナーご挨拶より

今年度のイアン・ライズリーRI会長のテーマは「ロータリー変化をもたらす」。変化をもたらすということは環境の変化に対応するためであり、さらに確かな変化をもたらすためには未来のロータリーの有るべき姿を描く必要がある。そのように考え、地区大会のテーマを「未来のロータリーを考える」とした。

1月の国際協議会でイアン・ライズリーRI会長は「六つの重点分野は将来四つになるかもしれない、しかもその一つに環境が入るかもしれない」また「地域のクラブはもっと個性や専門性を持って良い」と述べられた。それを受け松村ガバナーは未来のロータリーについて、こうあったらいいのではと思うことを三つ述べられました。

一つは、1911年にポールハリスが述べた、「寛容のこころ」を中核的な精神として、位置づけられないか。

二つめは、現在の六つの重点分野には発展途上国への人道的な援助が色濃く出ている、しかし先進国でも、環境問題・自殺・ドラッグ・引きこもりなど、大きな問題を抱えている。これらをRIの重点項目に取り込めないか。

さらに三つめとして、エンドポリオ後のRIの最重要テーマに「平和の構築」を掲げられないか。

これらは松村ガバナーの私見ですが、ガバナーの考え、またこれからのRCの方向性が見て取れると思います。ひとりひとりのロータリアンが未来に思いをはせ、様々な議論を巻き起こすことを期待していると最後に述べられていました。

小沢一彦 RI 会長代理ご挨拶より

日本のロータリーは34地区2270クラブ・89496人、かつて日本のRCが一番多いときは13万人、今は9万人弱にとどまっている。世界では539地区・35727クラブ・122万185名、ロータリーの先進国はアメリカ・日本・オーストラリアなどであり、その地域では会員が減っている。逆にインドやアフリカなど新興国では増えている。

これらからのロータリーは支援する側のメンバーが減り、逆に支援を受ける側のロータリーが増えてくる。インドやアフリカが発展してきているといっても、ほかの国を支援するほど豊になるとは言いがたい。このような状況を考えると、これからのロータリーは、若い人たちが、また女性が、働き盛りの人が、価値観を感じるようになっていかなければならない。

日本のロータリー100周年ビジョン策定特別委員会報告（志田パストガバナー）より

ロータリーは地区やRIがあっても、地域の一つ一つのロータリークラブの活動が基本。この一つ一つのクラブが活性化しなければならない。そのためにどのような手段があるかということを実例（静岡RC）を挙げて説明。

・細則改正

昨年の規定審議会での改定を受け、ぜひ自分のクラブにあわせた細則改正を行ってほしい。地域に合わせ、自分のクラブの長所を伸ばすようなルールをつくってほしいということで、静岡クラブ細則改正の実例を示されました。静岡クラブという非常に歴史のある大きなクラブにおいても、非常に柔軟に細則を改定されているということに驚きました。

当クラブも土屋ガバナー補佐のもと、今年2月に細則を改定しましたが、さらに大胆に見直してもいいのではないかと思います。またそのような議論をクラブの中で活発におこなうことが最も重要ではないでしょうか。

・職業奉仕

静岡RCでは、静岡大学と5年契約でメンバーが自分の仕事の講義を行い、それに単位が付くという事業をおこなっている。職業奉仕も、実際何をやらたいのか非常にわかりにくい分野ですが、このような方法もあるという例です。

・ビジョン策定

2020年に日本のロータリーが100周年を迎える。その中で、日本のロータリーの現状と課題を明らかにし、全国のロータリアンの合意を形成しながら世界のロータリーに発信できる日本のロータリーのビジョンを策定する。

そのために、今年の春に全国のクラブにウェブアンケートを実施し、その結果が11月号のロータリーの友に掲載されている。

ガバナー補佐 土屋 龍太郎

ことほぎ代表 白駒妃登美氏より

・命は大事、その命に換えても守りたいものがあるか？

「人の命は何事にも代え難い」という教育 ⇒ 自分の命さえ粗末にする風潮。余命宣告を受けて、自分の命の使い方考えた。

・今日起きたことは過去の結果では無く、明日のためにある。

・「しらす」の理念こそが日本国の根本

力で奪い取った国を治める「ウシハク」と、民の心を知ろうとされ、それに自らを合わせること「シラス」で国を治める日本。「シラス」は、人々が対等観をもって生きる社会、「ウシハク」は、上下と支配と隷属の社会。

・東日本大震災への海外から義援金、台湾が最多

日本の台湾統治の結果、民の暮らしが劇的に改善、経済発展の基盤を得た歴史があり、台湾には、「日本精神」という言葉がある。勤勉で正直で約束を守るという意味。

・ロータリアンへの期待

「諸国百衆繁盛」を祈る日本の事業家、利他の心 ⇒ ロータリーの理念に通ずる。



團琢磨

2017-18

RI 会長 インHS ライター ガバナー 松村友吉
会 長 長友範充 幹 事 土屋雄三
会報委員会 浜村真由美・木内昭夫・水谷隆一・土田 哲



伊豆中央ロータリークラブ ROTARY CLUB OF IZU-CHUO

週報 第 2515 回例会

2017. 11. 17 (金) 於 箱根ハイランドホテル

事務所 静岡県三島市中央町 4 番 9 号 小野住環境ビル 2F
TEL (055) 976-6351 FAX (055) 976-6352
例会場 ホテルサンバレー富士見 静岡県伊豆の国市古奈 185-1
TEL (055) 947-3100 FAX (055) 947-0564
URL www.izuchuo-rc.org

相模原西・伊豆中央ロータリークラブ合同例会 平成 29 年 11 月 17 日

会長挨拶

会長 長友範充



こんばんは。またお世話になります。今年度会長を務めさせていただいております、長友範充と申します。よろしくお願ひ致します。

今年の 3 月には、伊豆中央クラブにおいでいただき、ありがとうございました。

3 月に来られたときには、サンバレー富士見で合同例会と懇親会を行い、次の日は修善寺のジオリアから下田、そして堂ヶ島と観光した記憶があります。たいしたおもてなしも出来なく、申し訳ありませんでした。今回は箱根で交流会を行われるということで、お邪魔させていただきました。今日、明日と、ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願ひ致します。

相模原西クラブと伊豆中央クラブが友好クラブ協定を締結したのは 2002 年ですから、約 15 年経つわけです。私がロータリーに入会したのは 1997 年ですので、私が入会して 5 年くらいで友好クラブを締結したということになります。思ったより長いお付き合いで、今回 15 周年になります。

その 2002 年度は伊豆中央クラブの会員数は 46 名でした、現在は会員数 24 名とほぼ半減しております。63 名というメンバーのいらっしゃる相模原西クラブさんがうらやましいところです。

弊クラブ、メンバーも少なく、なかなか思ったようなお付き合いも出来ませんが、これからもよろしくお付き合いのほど、お願ひ致します。また、今までは合同例会・懇親会・観光がメインの交流でしたが、そろそろ、それ以外の交流方法も考えていいのではないかと思います。

今までの 15 年が 20 年、30 年となるように、末永きお付き合いを願ひしますとともに、相模原西クラブの皆様のご健勝・ご発展を祈念してご挨拶とさせていただきます。

相模原西ロータリークラブ 満田重治会長



伊豆中央ロータリークラブ 山口和拓直前会長



出席報告

	出席総数	出席率	マークアップ	修正出席率
前々回	18/23 名	78.26%	21/23 名	91.30%
今回	16/24 名	66.67%	会員総数	24 名

・今回の欠席者：大川、小野、木内、紀平、小林、土屋龍太郎、浜村、儘田

・前々回の MU 者

紀平 幸一 (11/9 三島西 RC)
中山 博司 (タイ訪問)
水谷 隆一 (11/5 米山委員会)





▲ 本多康一先生



ロータリー 変化をもたらす

伊豆中央ロータリークラブ ROTARY CLUB OF IZU-CHUO

週報 第2516回例会

2017. 11. 28 (火) 於 サンバレー富士見

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 小野住環境ビル 2F

TEL (055) 976-6351 FAX (055) 976-6352

例会場 ホテルサンバレー富士見 静岡県伊豆の国市古奈 185-1

TEL (055) 947-3100 FAX (055) 947-0564

URL www.izuchuo-rc.org

2017-18

RI 会長 イノH.S. ラグビー ガバナー 松村友吉
会長 長友範充 幹事 土屋雄三
会報委員会 浜村真由美・木内昭夫・水谷隆一・土田 哲

SAA 原田精治 S.L. 浜村真由美

斉唱 「奉仕の理想」

会長挨拶

会長 長友範充



今回は相模原西クラブとの交流会ということで、箱根にて合同例会・懇親会を行いました。ご出席ありがとうございました。懇親会も今までになく盛り上がり、友好が深められたと思います。

今回の相模原西RCとの交流、また10月の京都乙訓RCとの交流の時にも思いましたが、両クラブともずいぶん世代が変わり、若い世代が中心になってきたように感じます。会員数が多いこともさることながら、少しうらやましい気もしました。しかし、話を聞いてみますと、各クラブそれぞれがいろいろな問題を抱えているようです。

先日の相模原西RCでは、会員数は増えたが出席率が悪い。また古いメンバーの方は、最近品がなくなったとか、ロータリーらしくなくなったということを使う方もいらっしゃいました。また若い人からはロータリーの奉仕の方法とか、運営自体に関する批判も見受けられました。

しかし、そういう世代間のギャップなどは、どんな組織でも、またいつの時代でもあるものだと思います。

重要な事は、そのようなズレやギャップを皆が認識

し、それについての改善策を話し合っ変えていくということだと思います。

我々のクラブにも、他のクラブと同じような、また我々のクラブ独自の問題が数多く存在すると思います。機会があるたびに、それらについて話し合い、改善していく必要があると感じました。

これから次年度も始まってまいります、ぜひそのようなことを念頭に置いて、よりよい方法を考えていただきたいと思ひます。

出席報告

副委員長 飯田晃司

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	20/24 名	83.33%	21/24 名	87.50%
今回	20/24 名	83.33%	会員総数	24 名

- ・今回の欠席者：小野、小林、儘田、水谷
- ・前々回のMU者：木内（11/7 東京城西 RC）

スマイル報告

親睦友好委員 大川 公

- ・土屋雄三：相模原西 RC との交流会、たくさんのメンバーの皆様に参加いただきましてありがとうございます。また、本日、土屋源由会員、卓話よろしくお願ひいたします。
- ・水谷隆一：昨日、創立記念日でした。今日は、52年と1日目、これからも伊豆中央 RC が発展いたしますように！

(本日のスマイル合計：¥8,000-)

慶事発表

- ・土屋龍太郎 11月29日 結婚記念日
- ・飯田 鍵 吾 12月1日 奥様誕生日



RI 会長テーマ

「ロータリー：変化をもたらす」

Rotary Making a Deference

- ・12月22日(金) クリスマス家族会:富士箱根カントリークラブ
- ・平成30年1月10日(水) 4クラブ合同新年会

卓話

「議員活動について」 土屋源由会員



私は、伊豆長岡町会議員、伊豆の国市議会議員、そして現在は、静岡県議会議員として議員活動をさせていただいております。

本日は、皆さんに静岡県議会の事についてお話をさせていただきます。

静岡県議会について

- ・静岡県議会の開催（3月、6月、9月、12月）の年4回開催。
12月の議会は、12月1日～21日まで、内容は、補正予算等
- ・議員の定数（69名）静岡県の人口約370万人であるので約5万3千人に一人の割合。
一人区の場合、失職より50日以内に選挙が行われる（富士市・裾野市・函南町）
- ・会派の構成（自民改革会議38名、ふじのくに県議団21名、公明党県議団5名他）
- ・会派人数によって、委員長ポスト、議運の人数、質問時間の配分等が決められる。

平成30年度 当初予算について

- ・約1兆2千億円前後で調整されている。
*簡単に言えば、昨年度と同程度の予算（新しい事業と無くなる事業で相殺）
- 2/1・知事折衝、2/7・議案説明 2/20・議会開会（議会に上程される）

部局と委員会について

- ・経営管理部・危機管理部…総務委員会
- ・企画広報部・くらし環境部…企画くらし環境委員会
- ・文化観光部…文化観光委員会
- ・健康福祉部・がんセンター局…厚生委員会
- ・経済産業部・企業局…産業委員会
- ・交通基盤部…建設委員会
- ・教育委員会・警察本部…文教警察委員会

政務活動費の紹介

みなさん、よく報道などで耳にする言葉で「政務活動費」があると思います。

聞いたことはあるけれどもその実態は意外と正確に知られていません。

少し具体的なものをご紹介します。

- ・交通費 1
タクシー代（政務活動での移動以外はダメ）電車やバス移動
- ・交通費 2
新幹線の利用はOKだけど、当然に自由席
- ・交通費 3
自家用車は、リース利用なら半額負担、ガソリン代も半額
- ・交通費 4
各種団体の賀詞や総会等は、招待されても請求できない
- ・会費
飲食のある会費や、祝儀はNGで、これは全部自己負担
- ・事務所
事務所や事務員等の経費は、半額しか出ない
- ・視察 1
県外に視察に出かける時は、報告書の作成が義務付けられている
- ・視察 2
写真や相手の名刺等を報告書に添付する
- ・視察 3
議員の1泊料金は16,500円までで、オーバーすると自己負担
- ・郵便
はがきは官製はがきはダメ、切手も後納郵便で送る
- ・その他
弔電等は、後援会活動なので一切出ない



伊豆中央ロータリークラブ ROTARY CLUB OF IZU-CHUO

週報 第2517回例会

2017. 12. 5 (火) 於 サンバレー富士見

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 小野住環境ビル 2F

TEL (055) 976-6351 FAX (055) 976-6352

例会場 ホテルサンバレー富士見 静岡県伊豆の国市古奈 185-1

TEL (055) 947-3100 FAX (055) 947-0564

URL www.izuchuo-rc.org

2017-18

RI 会長 イノH.S. ラグビー がけー 松村友吉

会長 長友範充 幹事 土屋雄三

会報委員会 浜村真由美・木内昭夫・水谷隆一・土田 哲

SAA 小野 信 S.L. 原田精治

斉唱 「君が代」 「それでこそロータリー」

会長挨拶

会長 長友範充

12月に入り、さすがに寒くなってまいりました。今年度のRCも来週、そして22日のクリスマス例会と、余すところあと2回となりました。

今朝、トンプリクラブの会長から60周年記念事業へのお礼のメールが来ておりました。トンプリクラブには来年度の6月ごろ訪問する予定です。最後の訪問ということで、多くのメンバーが、この機会に一度トンプリRCを訪れていただければと思います。

先日、増強委員会が開催されました。その中で、比較的有力な候補者の方が何名かいらっしゃることが分かりました。例年そうなのですが、この方達を入会まで結びつけることが非常に難しいわけです。増強については、長年、各クラブ・地区とも重点項目になっていますので、当然、手法・方法も存在します。以前、地区の会議で、前年度の増強の上位クラブの表彰があり、それらのクラブがどうやって増強したかを発表したことがありました。その話を聞いてみると、こういう方法で増強したとかは、特にないようです。増強上位のクラブでは、数人のメンバーが強引に説得して入れたということがほとんどでした。結局、手法やリストアップは必要でしょうが、一番重要なことは各メンバーがこれだという候補者を見つけ、まめにまた強引に説得するしかないと思います。

それに加え、今年度後半でなるべく入会しやすい、また継続しやすいクラブを目指したいと考えます。要するに時間的、また金銭的負担をなるべく軽減するということです。

今年度、例会数はかなり減らしました。実際には会費も減らそうと考えていたわけですが、会員数が減少した分固定費の負担が相対的に大きくなっており、会費の軽

今年度の後半で、メンバーの皆様方の意見を聞きながら、会員の負担を軽減し、また入会の障壁を少しでも低くする事を考え、細則を改定したいと考えます。少しでも負担を減らすことが、入会また退会防止に必ずやつながることだと信じます。

増強もそのようなことも考慮に入れて、ぜひ一人でも多くの方を説得していただければと思います。

御協力をよろしくお願い致します。

出席報告

副委員長 飯田晃司

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	16/24 名	66.67%	19/24 名	79.17%
今回	18/22 名	81.82%	会員総数	24 名

- ・今回の欠席者：紀平、小林、土屋龍太郎、儘田
- ・前々回のMU者：木内 (11/28 横浜本郷RC)
紀平 (11/29 三島RC)
土屋龍太郎 (11/11 地区大会)

スマイル報告

親睦友好委員 土田 哲

- ・土屋雄三、山口、原田、土田
小島さん、本日の卓話よろしくお願ひいたします。
(本日のスマイル合計：¥7,000-)

慶事発表

- ・大川 公 12月5日 奥様誕生日

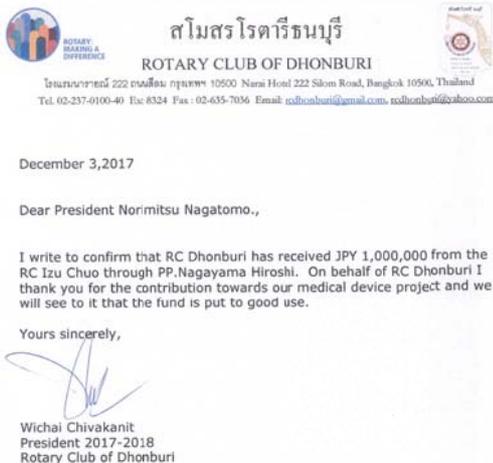


幹事報告

幹事 土屋雄三

- ・12月22日(金) クリスマス家族会:富士箱根カントリークラブ
- ・平成30年1月10日(水) 4クラブ合同新年会

タイ、トンブリロータリークラブよりお礼のメールが届きました。



卓 話 「日本のゴルフ場について」 小島昭男会員



私は、ゴルフ場の経営をしていますので、ゴルフ場の事について、皆さんにお話をさせていただきます。

ゴルフ場利用税について

皆様の中には、ゴルフをやる方もいらっしゃると思います。しかし、ゴルフ場でプレーするたびにゴルフ場利用税が課税されていることを御存じでしょうか。

このゴルフ場利用税については、度々廃止を訴えているのですが、ゴルフ場のある地方公共団体にとって貴重な財源となってしまっているため、なかなか廃止をすることが出来ないのが現状です。

ゴルフ場利用税廃止を我々が訴えるのには当然理由があります。

ゴルフ場利用税は平成元年に施行されました。平成15年からは一部非課税となり、全体の約5%が非課税者でありました。その後、非課税者の割合は逐次増加し、平成24年度では全体の14.7%が非課税者となっている。この間のゴルフ場利用者推移をみると、全体の入場者は減少しているにも関わらず、非課税入場者だけは増加を続けている。

ゴルフ場利用税の存在が、ゴルフというスポーツへの参加を阻害していると言えます。

平成元年の消費税の導入に伴い、それ以前は「娯楽施設利用税」の対象施設として課税されていた舞踏場、ボーリング、パチンコ、射的、マージャン、玉つき、ゴルフ練習場等、ゴルフ場以外の全ての課税対象は非課税となった。

ゴルフだけが、「ゴルファーには担税力がある」として「ゴルフ場利用税」と名称等を変更して、存続させられたものである。しかしながら、現在ゴルフは競技人口約1,000万人を擁し、老若男女に愛される、まさに国民スポーツとなっており、そこに特段の「担税力」は見いだせない。

プレー料金が大幅に低下する中、ゴルフ場利用税と消費税の「二重課税」は、ゴルファーの支払金額の非常に大きな割合を占め、ゴルフの普及・振興の大きな阻害要因となっている。

消費税率は、今後10%に引き上げられる予定であり、ゴルフに対する「税の不公平」はさらに拡大する。「ゴルフ場利用税」は、今すぐ廃止されなければならないと思います。

本税を課税する理由として、ゴルフ場の開設時やその後の運営において特別に道路取り付けや水道の提供など特別な「行政サービス」を受けており、そのコストのための課税という理由（応益税）があげられている。しかし、ゴルフ場が、他の競技施設あるいは事業所に比し特段の行政サービスを受けていることは無く、また、本来であれば山林原野である場所がゴルフ場となったことで、資産価値が高まり、固定資産税収入に寄与している。更にゴルフ場による新たな雇用の創出や諸物品販売などの事業が発生、地元経済の活性化に大きく貢献している。ゴルフ場とゴルフの需要は地域にとってプラスの面が大きい。

スポーツに課税するのは許されない

急速に高齢化社会を迎えつつあるわが国にとって「余暇活動の充実」「健康増進」は非常に重要なテーマであり、ゴルフは高齢になっても行える格好の生涯スポーツとして親しまれている。2016年リオ・デ・ジャネイロ五輪から、ゴルフは正式競技として復帰し、2020年東京オリンピックでも正式種目のひとつである。これは世界最高峰の競技大会そのものが、ゴルフはスポーツであり、単なる遊興でないということを証明している。

スポーツをする者に対する課税制度を持つ我が国が、世界中からの批判を受けるであろうことは想像に難くないと思います。



伊豆中央ロータリークラブ ROTARY CLUB OF IZU-CHUO

週報 第2518 回例会

2017. 12. 12 (火) 於 サンバレー富士見

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 小野住環境ビル 2F

TEL (055)976-6351 FAX (055)976-6352

例会場 ホテルサンバレー富士見 静岡県伊豆の国市古奈 185-1

TEL (055)947-3100 FAX (055)947-0564

URL www.izuchuo-rc.org

2017-18

RI 会長 イノH.S. ライター ガバナー 松村友吉

会長 長友範充 幹事 土屋雄三

会報委員会 浜村真由美・木内昭夫・水谷隆一・土田 哲

SAA 原田精治 S.L. 水谷隆一

斉唱 「我等の生業」

副会長挨拶

副会長 古藤田博澄



まず最初に、このたびは、長友会長の奥さまのご逝去の報に接し、大変驚いております。

故人のご冥福をお祈りするとともに、ご家族の皆様のご傷心を拝察いたし、心よりお悔やみを申し上げます。

本日は年次総会です。規定第一条及び第二条（理事の構成、役員選考方法）に従い、次年度の理事、役員を決定していきたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

11月29日に伊豆総合高校の有馬校長、増田教頭をお訪ねし、寄付金を贈呈してきました。これにより、最終報告を本部に提出し、本プロジェクトは完結ということになりました。

今年度の財団プロジェクトは、オープンロータリーとの抱き合わせ企画として実施しました。修善寺駅でのポリオ撲滅募金運動、郷土芸能部の太鼓演奏、修善寺駅前大掃除、写真部による写真展、そしてオープンロータリーと地域の将来を支える若者達に活動の場を提供することで、静岡新聞、伊豆日日新聞にも大きく

取り上げられ、伊豆総合高校のPRに寄与できたと思っています。しかしながら、伊豆総合高校の工業科は、来年度の定員を一クラス減らすことになりました。伊豆中央ロータリークラブとしては、今後、伊豆総合高校に対して、ますますの支援活動の継続が必要と痛感いたしております。

本日は、年次総会終了後、IM実行委員会からの進捗状況報告もごございますのでよろしくお願いいたします。

出席報告

出席委員 山口和弘

	出席総数	出席率	メンバー	修正出席率
前々回	20/24 名	83.33%	21/24 名	87.50%
今回	14/22 名	63.64%	会員総数	24 名

- ・今回の欠席者：雨宮、大川、小野、小林、長友 土屋龍太郎、浜村、儘田
- ・前々回のMU者：水谷 (11/5 米山記念館)

スマイル報告

親睦友好副委員長 小島昭男

・小島昭男

12月22日(金)クリスマス家族例会が開催されます。よろしくお願いいたします。

(本日のスマイル合計：¥1,000-)

幹事報告

幹事 土屋雄三

- ・12月22日(金) クリスマス家族会：富士箱根カントリークラブ
- ・平成30年1月10日(水) 4クラブ合同新年会
- ・平成30年1月23日(火) 通常例会
- ・平成30年1月30日(火) 伊豆の国市渡辺勝弘副市長卓話



11月28日に指名委員会を開会し、委員会で選考されました次年度の理事、役員を発表し、本総会において下記のとおり次年度の理事、役員が承認、決定いたしました。

会長 古藤田博澄 君

会長エレクト 雨宮演邦 君

副会長 小島 昭男 君

幹事 水谷 隆一 君

会計 飯田鍵吾 君

直前会長 長友範充 君

財団委員長 石井政一 君

奉仕プロジェクト委員長 山口和拡 君

増強委員長 紀平幸一 君



I Mは、以下のように定義されています。

INTERCITY MEETING の略称で、複数の都市連合のことで、主に分区内のクラブ合同の四大奉仕部門にわたる自由討論集会。

その目的は、会員相互の親睦と面識を広め、会員にロータリー情報を伝えることにあり、一般的には分区単位で行なわれる。当年度のガバナー補佐が主催する。

今 I Mは、土屋龍太郎 AG の主催によって、当分区にある米山梅吉記念館の存在意義の共有と永続的支援を目的に、会員に米山梅吉翁についての知識を広め、理解の深化を図ることとする。

I Mについてガバナー補佐の方針は下記のとおり。

- ・「変化すべきものと守るべきもの」を見極め、ロータリーの未来を考えよう。
- ・見よう見まねの繰り返しは「似て非なるものを生む」、本質を理解するために勉強しよう。大きな合意作りが先決、その上で業務を分担し、成功による達成感を共有し、米山梅吉翁について理解し、納得した上で、奨学生のお世話や記念館に携わることで新たな歴史づくりに貢献しよう。

米山梅吉翁は慶応4年2月4日生まれで、来年は生誕150年を迎えます。再来年には米山記念館設立50周年となり、50周年記念事業が開催されます。「米山梅吉翁の功績を知る機会をこの I Mのテーマとしては、」と言うガバナー補佐の提案に賛同し、I M実行委員会は協議を重ね実施計画案を取り纏めました。



伊豆中央ロータリークラブ ROTARY CLUB OF IZU-CHUO

週報 第 2519 回例会

2017. 12. 22 (金) 於 富士箱根カントリークラブ

事務所 静岡県三島市中央町 4 番 9 号 小野住環境ビル 2F

TEL (055) 976-6351 FAX (055) 976-6352

例会場 ホテルサンバレー富士見 静岡県伊豆の国市古奈 185-1

TEL (055) 947-3100 FAX (055) 947-0564

URL www.izuchuo-rc.org

2017-18

RI 会長 伊ノH.S. ラグビー ガバナー 松村友吉
会 長 長友範充 幹 事 土屋雄三
会報委員会 浜村真由美・木内昭夫・水谷隆一・土田 哲

クリスマス家族例会

平成 29 年 12 月 22 日

会長挨拶

会長 長友範充

本日は今年最後のクリスマス家族例会です。たくさんの会員そしてご家族のご出席ありがとうございます。

ほんとうに早いもので、もう今年が終わろうとしています。ロータリーの年度としても半分終わったというところ です。

今年度は分区の担当であり、また IM も開催するため、クラブの事業はなるべく前半に集中させ、年を明けたら IM に集中するというシナリオを年度当初より考えておりました。

おかげさまで、計画通りクラブの主要な事業は年度前半で完了することが出来ました。御協力ありがとうございました。

また、心配していた次年度人事につきましても、快く次年度理事、役員をお受けいただいたということで、安心しております。

ここから、来年 1 月半ばまでロータリーも休みとなります。各委員長の皆様、また各会員におかれましても、ここまでの前半の半年間を総括していただき、1 月からの残りの後半を新たな気持ちで取り組んでいただきたいと思います。

今年度後半は事業も少なくなってくるので、内的充実を図りながら楽しいクラブ運営を目指し、次年度へと繋げていきたいと思っております。よろしく御協力をお願いいたします。

本日、規約に従い次年度役員である SAA (会場監督) と副幹事を発表することとなっております。

本日、古藤田エレクトが欠席ですので、代理として次年度の SAA 及び副幹事を発表させていただきます。

SAA 委員長に小野信会員、副幹事に土屋龍太郎会員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

大川 公会員 退会の挨拶



儘田和義会員 退会の挨拶



出席報告

	出席総数	出席率	マークアップ	修正出席率
前々回	18/22 名	81.82%	20/22 名	90.91%
今回	19/24 名	79.17%	会員総数	24 名

- ・今回の欠席者：古藤田、小林、浜村、水谷、山口
- ・前々回のMU者

紀平 幸一 (11/29 三島西RC)

土屋 龍太郎 (11/12 地区大会)

